

浄土宗社会福祉施設総覧

戦前期設立施設法人編



浄土宗総合研究所

『浄土宗社会福祉施設総覧』の刊行に寄せて

浄土宗総合研究所客員教授

「仏教福祉」共同研究班代表

長谷川 匡 俊

本宗は、大正中葉から昭和初頭にかけての我が国社会事業の黎明期に、幾多の斯業の先達を輩出し、「一寺院一事業」の提唱もあって各地で活発な社会教化・社会事業を展開いたしました。まさに仏教社会事業全盛の中樞を占め、「社会事業宗」の自負に満ち満ちた時代でもあったのです。

また戦前期には、こうした事情を裏付けるかのように、本宗の社会事業に関する出版物も少なくありませんでした。なかでも昭和九年社会課発行の『浄土宗社会事業年報』や『浄土教報』の当該記事によれば、先の実況が雄弁に物語られており、こんにちにおいても、貴重な史料として活用されています。

では、戦後はどうかといいますと、終戦後まもなくの昭和二十年代には、仏教社会事業の再編・組織化といった積極的な動きもみられましたが、残念ながら実体化を見るまでには至りませんでした。その後わが国は急速度に高度経済成長を遂げていきましたが、他方、これと引き換えに核家族化の進行、地域共同体の崩壊を決定づけ、伝統的な救済システムとしての血縁的・地域的な相互扶助を機能不全たらしめたのです。その結果、新たな行政対応が迫られ、社会福祉の法や制度の整備が図られてまいりました。それを象徴するのが、国家が国民の生活の保障を約束する「福祉国家」への道ではなかったでしょうか。ところが、公私ないし官民それぞれの立場や役割分担が必ずしも明確にされないまま、社会福祉の公的責任性のみが先行したため、どちらかといえば民間社会福祉の主体性・独自性は見えにくいものとなってしまいました。極言すれば、戦前期以来の民間社会事業を貫く仏教の信仰や思想の内実が、制度を生かす方向に作用したというよりも、制度としての社会福祉の中に民間性が埋没してしまったという側面のあることも否定できないことのように思われます。

その後曲折を経て、現状をみれば、少子・高齢化の進展と国家の財政状態の悪化が深刻化するなかで「福祉国家の再構築」が問われるという極めて厳しい環境下にあります。くわえて、社会福祉の目指す方向もキャッチ・アップ型の「量」重視から、低成長下における「質」重視、つまり多様化へとシフトしてきております。広井良典氏が指摘するように、「福祉」が従来からある「低所得性に着目した施策」から、「対人社会サービス」へとその対象領域を拡大（普遍化）し、福祉の市場化など供給主体の多元化の問題、公私の役割分担、財政と供給の適正な関係など、新たな段階にはいつてきたのです（『ケアを問いなおす』『日本の社会保障』参照）。したがって、民間社会福祉の一翼を担う仏教福祉（事業・活動）に関しましても、いまこそ「仏教社会事業」の歴史と伝統に学び、改めてその可能性を現代に問うチャンスだと考えるものです。

浄土宗総合研究所は、平成八年度より水谷幸正所長（当時）の肝煎で仏教社会福祉に関する共同研究班を発足させ、研究会やシンポジウムの開催、機関紙『仏教福祉』の刊行（現在十号）などとともに、『浄土宗社会福祉施設総覧』の編纂に取り組んでまいりました。このたびその第一期事業として、戦前期に創設された諸福祉施設（法人）の概要（歴史と現状）を編集発行する運びとなりました。諸般の事情により刊行が大はばに遅延しましたこととお詫びいたしますとともに、基礎資料をご提供いただいた各施設関係者のご熱心なご協力に対して厚く御礼を申し上げます。本書は、先に刊行をみた浄土宗社会福祉事業協会編『浄土宗と福祉』と併用されることによって、本宗社会福祉事業の伝統と創造を、いわば施設史の側から概観するうえで役立てていただければ、このうえなき幸いです。共同研究班を代表して一言所感を述べご挨拶とさせていただきます。

凡 例

本書は、施設からの回答をもとに作成したものである。(項目の無い箇所は未回答)

1. 平成20年5月までに寄せられた情報に基づいている。
2. 番号と項目は、以下の通りである。

【法人】

- ① 所在地
- ② 設立年月日
- ③ 法人認可日
- ④ 創立者
- ⑤ 創立者の略歴
- ⑥ 関係寺院名
- ⑦ 理事長
- ⑧ 施設及び施設長名
- ⑨ 定員
- ⑩ 職員数
- ⑪ 創設の趣旨及び沿革
- ⑫ 運営方針

【施設】

- ① 所在地／電話番号
- ② 開設年月日
- ③ (法人認可日が別の場合)
- ④ 創立者名
- ⑤ 理事長名
- ⑥ 関係寺院
- ⑦ 定員
- ⑧ 職員数
- ⑨ 施設面積
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革
- ⑪ 運営方針

目次

『浄土宗社会福祉施設総覧』の刊行に寄せて	i
社会福祉法人 根室隣保院（養護老人ホーム）	1
根室隣保院附属 養護老人ホーム	3
社会福祉法人 札幌慈啓会	4
慈啓会養護老人ホーム	6
慈啓会特別養護老人ホーム	7
慈啓会老人保健施設	9
慈啓会ふれあいの郷（養護老人ホーム）	10
札幌市菊寿園（軽費老人ホーム〈A型〉）	11
札幌市稲寿園（特別養護老人ホーム）	12
札幌市稲明園（軽費老人ホーム）	13
札幌市拓寿園（軽費老人ホーム〈B型〉）	14
慈啓会病院	15
社会福祉法人 マハヤナ学園	16
マハヤナ学園撫子園（児童養護施設）	18
マハヤナ第二保育園	20
北前野小学校学童クラブ	21
社会福祉法人 光明会	22
光明会 杉並学園	23
社会福祉法人 上田明照会	24
甘露保育園	26
見誓寮（母子寮）	27
蓮の音こども園（知的障害児通園施設）	28
宝池慈光園（知的障害者更生施設〈通所〉）	29
宝池月影寮（知的障害者更生施設〈入所〉）	30
宝池和順園（知的障害者授産施設〈通所〉）	31
宝池住吉寮（知的障害者更生施設〈入所〉）	32
財団法人 慈友会（児童養護施設）	33
社会福祉法人 明照浄済会	35
社会福祉法人 三重済美学院	38
あかつき寮（婦人保護施設）	41
すばる（知的障害者デイサービスセンター）	42
のぞみ荘（知的障害者通勤センター）	43
度会学園（知的障害者更生施設）	44
平成第一コーポ・平成第二コーポ（知的障害者グループホーム）	45
平成第三コーポ（知的障害者グループホーム）	46
平成第四コーポ（知的障害者グループホーム）	47
社会福祉法人 大照学園	48

更生部（知的障害児施設）	50
児童部（知的障害児施設）	51
授産部（知的障害者通所授産施設）	52
社会福祉法人 平安養育院	53
平安養育院（児童擁護施設）	54
むくの木学園（知的障害児通園施設）	55
東樹（青少年自立援助ホーム）	55
社会福祉法人 公德会	56
マーヤ保育園	58
社会福祉法人 高津学園	59
高津学園（児童養護施設）	60
信太学園（児童養護施設）	61
知恩寮（知的障害者更生施設）	63
法然寮（ろうあ児施設）	64
社会福祉法人 四恩学園	65
四恩学園乳児院	68
四恩学園養護施設	70
四恩るり保育園	72
四恩乳児保育園	74
四恩みろく保育園（夜間保育園）	75
四恩るり2乳児保育園	76
四恩みろく2保育園（夜間保育園）	77
四恩児童館・もんじゅ	78
ふれ愛の館・しおん（高齢者デイサービスセンター）	80
四恩学園診療所	82
社会福祉法人 南河学園（児童養護施設）	83
社会福祉法人 月の輪学園（知的障害児施設）	85

（順不同）

社会福祉法人 根室隣保院(養護老人ホーム)



初代理事長
周田順應



理事長
周田ヨシエ

- ① 所在地：087-0047北海道根室市定基町3丁目3番地
電話番号：01532-3-4058
- ② 設立年月日：昭和15（1940）年6月25日根室養老院開設
- ③ 法人認可日：昭和16年6月30日財団法人根室隣保院として医療施設（診療所）と老人施設を創設
昭和22年9月3日生活保護法に基づく生活保護施設として許可
昭和27年5月17日財団法人根室隣保院を社会福祉法人に組織変更
昭和29年4月3日附属診療所を改め附属病院の許可
- ④ 創立者名：周田順應
- ⑤ 創立者の略歴

明治39（1906）年4月18日夕張郡栗山町において浄土宗方田寺住職、周田順信・ユキの長男として出生。宗教大学（現大正大学）に入り、椎尾弁匡、中野隆元両氏から薫陶を承ける。僧侶としての使命を、人々を教え導く「教導職」であると自覚する。大徳寺へは先代堀定孝師に請われ院代として入り、同師病没後第六代住職となる。昭和17年中標津に中標津教会所（天徳寺）を開創。同9年私立根室幼稚園、同15年財団法人根室隣保院を創設、同30年根室明照高等学校を設立し、教育・医療・社会福祉の重要性を説いた。同39年12月24日享年68歳で逝去。遷化の日従6位勲5等瑞宝文章を受け、その後大本山増上寺より「中興号」が贈られる。

- ⑥ 関係寺院名：大徳寺
- ⑦ 理事長名：周田ヨシエ
- ⑧ 施設及び施設長名：

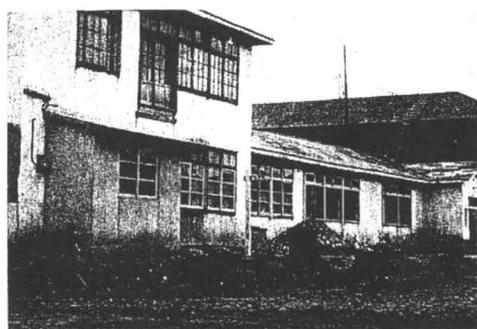
施設名	施設長名
ア 根室隣保院附属養護老人ホーム	周田泰俊
イ 根室隣保院デイサービスセンター	周田泰俊
ウ 根室隣保院在宅介護支援センター	周田泰俊
エ 根室隣保院居宅介護支援事業所	十河さよ子
オ 特定施設月岡	周田泰俊
カ 指定訪問介護事業所はなさき	周田泰俊
キ 介護付有料老人ホームライフハウス勢和	高橋明子

- ⑨ 施設名及び利用定員：
根室隣保院附属養護老人ホーム 定員150名
根室隣保院デイサービスセンター 定員42名

根室隣保院在宅介護支援センター
 根室隣保院居宅介護支援事業所
 特定施設月岡
 指定訪問介護事業所はなさき
 介護付有料老人ホームライフハウス勢和 定員40名

⑩ 施設職員数：

社会福祉法人根室隣保院 兼務 2名
 根室隣保院附属養護老人ホーム 11名
 根室隣保院デイサービスセンター 14名
 根室隣保院在宅介護支援センター 兼務 1名
 根室隣保院居宅介護支援事業所 2名
 特定施設月岡 10名
 指定訪問介護事業所はなさき 39名



創立時の施設

介護付有料老人ホームライフハウス勢和 22名

⑪ 創設の趣旨及び沿革

大徳寺第7世の周田順應師が、昭和15年6月25日根室町定基町3丁目3番地の国有地688坪と202坪の建物を買収して、道内5番目の根室養老院を開設した。翌16年4月8日「お互いが理解し、助け合って共に生きてゆく」という隣保扶助の精神に則った創立理念から、根室隣保院と名称を定める。同16年6月30日に貧困無力の老衰者や身体障害者の救済および育児、託児、授産、軽費診療ならびに施設療養、その他の社会事業を行うことを目的として、法人事務所を大徳寺内に置き、医療施設を弥生町2丁目3番地に、老人施設を定基町3丁目3番地において財団法人根室隣保院が創設された。初代理事長に周田順應師が就任した。診療所は、設立寄付金8500円で建物と医療器具を購入し、医師1名、書記1名、看護婦3名、入院設備9名を配置し、同17年2月12日付で許可され、同年3月16日開設された。同22年9月3日生活保護法による生活保護施設として許可され同26年9月30日に生活保護法による医療機関として指定を受ける。同27年5月17日財団法人を社会福祉法人に組織変更する。同29年4月3日診療所を附属病院として許可される。同39年2月24日創立者が逝去し、同40年1月2日周田ヨシエ氏が第2代理事長に就任。同38年老人福祉法制定とともに、生活保護法による施設運営を廃止し、「養老院」を「養護老人ホーム」と改称し、同42年12月には入所定員200名から154名の定員に減じて定基町から月岡町へ移転し今日に至る。付属病院も同55年2月13日開設の許可を受け、旧老人ホームの跡地に移転して同年3月1日100病床の一般病院として新築開設するも、平成6年6月1日には75病床の療養型病床群病院として今日に至っている。老人ホームに隣接のデイサービスセンター、在宅支援センターは同11年4月より開始している。

根室隣保院附属 養護老人ホーム



施設長
周田泰俊

- ① 所在地：087-0031 根室市月岡町2丁目88番地
電話番号：0153-25-3330 F A X：0153-25-4556
- ② 開設年月日：昭和15（1940）年6月25日
- ③ 法人認可日：昭和16年6月30日
- ④ 創立者名：周田順應
- ⑤ 理事長名：周田ヨシエ
- ⑥ 関係寺院名：大徳寺
- ⑦ 定員：15名
- ⑧ 職員数：11名
- ⑨ 施設面積：建物 = 2871.18㎡



現施設（附属養護老人ホーム）

社会福祉法人 札幌慈啓会



創立者
林玄松



現理事長
太田眞琴

- ① 所在地：064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号
電話番号：011-561-8291 F A X：011-561-8298
- ② 設立年月日：大正14年10月 札幌養老院（養護老人ホーム）を開設
- ③ 法人認可日：昭和2年12月 財団法人札幌養老院認可
昭和27年5月社会福祉法人札幌養老院組織替え
- ④ 創立者名：林玄松（浄土宗 北縁山新善光寺住職）
- ⑤ 創立者の略歴

大正14年に設立した札幌養老院の創設者、初代理事長の林玄松は、明治5年1月21日に大分県西国東郡田原村で出生した。幼少の頃から教書を学び、学問に熱心であった。同年11月8日、東京芝区の天徳寺で大谷在玄師に就いて得度した。同28年に大学宗学東京支校を卒業し、次いで30年には宗学高等学院に入学、同33年に4学年を修業する。大正9年11月28日権僧正に任ぜられた。明治32年には、開山大谷玄超師の後を承けて、第2世として新善光寺の法燈を受け継ぐことになる。それから間もなく、伽藍建設の大構想を立て、新善光寺本堂の建設をわずか2年で完成させた。玄松師の活動はそれにとどまらず、新善光寺の完成後も自身が病身であることも忘れて、自ら進んで孤独や老衰の人々の救護に取り組んだ。しかし、師は早くから喘息に悩み、晩年はその病篤く、昭和2年3月25日以来病床に臥していた。その後は専心療養したが、同年10月に病気が悪化してついに翌年12月11日入寂するに至った。

- ⑥ 関係寺院名：北縁山新善光寺
- ⑦ 理事長名：太田眞琴
- ⑧ 施設及び施設長名：施設名

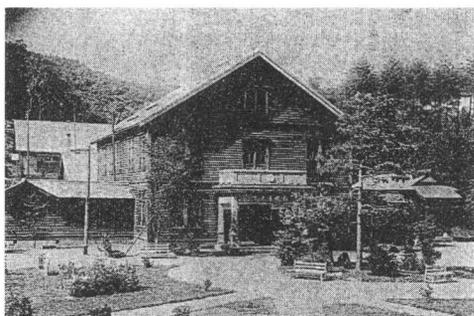
(定員含む)

慈啓会養護老人ホーム
慈啓会特別養護老人ホーム
慈啓会病院院長
札幌市稲寿園特別養護老人ホーム
慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム
慈啓会老人保健施設
札幌市菊寿園
札幌市拓寿園

施設長

名久井政勝 (80名)
福田三行 (160名)
川原田信 (235名)
池田浩 (110名)
原一男 (120名)
小関利行 (90名)
川島志緒里 (50名)
松尾省吾 (50名)

- ⑩ 職員数：法人562名



創立時の施設の写真



現施設の写真

⑪ 創設の趣旨及び沿革

「時代とともに、地域とともに。保健と医療と福祉をみつめて。」

札幌慈啓会の前身である札幌養老院は、大正14年の秋、新善光寺第2世の林玄松師の発願で誕生した。仏教精神を基調として、人生、特に老後の心身ともに豊かな生活を目指すことを目的としている。昭和27年社会福祉法人の認可を得て、昭和44年に法人名を「札幌養老院」から、現在の「札幌慈啓会」に改称した。その間に「養護老人ホーム」「特別養護老人ホーム」「慈啓会病院」と経営規模を拡大し、札幌市から経費老人ホーム2ヶ所と特別養護老人ホーム1ヶ所を受託経営し、平成10年11月には、「慈啓会老人保健施設」、平成12年11月には「慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム及び生活支援ハウス」を開設し、ここに、創設以来一貫して高齢化の進展を真剣に見つめて、札幌市において優れた保健・医療・福祉施設が一体化された幅広い活動を続けております。

慈啓会養護老人ホーム



施設長
名久井政勝

- ① 所在地：064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番52号
電話番号：011-561-8296 F A X：011-561-8280
- ② 開設年月日：大正14年10月1日 札幌養老院として開設
昭和38年慈啓会養護老人ホーム設立
- ④ 創立者名：林玄松（僧侶）
- ⑤ 理事長名：太田眞琴
- ⑥ 関係寺院名：北縁山新善光寺
- ⑦ 定員：80名
- ⑧ 職員数：施設長 = 1名 総数 = 22名
- ⑨ 施設面積：建物 = 2,866.54㎡ 敷地 = 28,212.96㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

大正14年札幌市浄土宗新善光寺住職、林玄松師が同寺の附帯事業として、孤独な老人の保護を目指した札幌養老院を創設、札幌市における最古の老人福祉施設である。昭和38年「老人福祉法」が制定され、法律用語として養護老人ホームとなる。当施設は、内部の充実と、類例の少ない病院併立という最も恵まれた環境下にある老人ホームである。

昭和60年4月当時としては、画期的な「全室個室」での新施設を完成させた。



現施設の写真

慈啓会特別養護老人ホーム



施設長
福田三行

- ① 所在地：064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号
電話番号：011-561-8292 FAX：011-561-8298
- ② 開設年月日：大正14年10月1日 札幌養老院として開設
昭和38年慈啓会特別養護老人ホームを設置開所する
- ④ 創立者名：林玄松
- ⑤ 理事長名：太田真琴
- ⑥ 関係寺院名：北縁山新善光寺
- ⑦ 定員：150名の他 短期入所10名
- ⑧ 職員数：施設長=1名 総数=135名
- ⑨ 施設面積：建物=9,524.27㎡ 敷地=28,212.96㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

特別養護老人ホームは、昭和38年の老人福祉法の制定によって初めて開設されることになった。特別養護老人ホームの制度が制定されて間もない頃は、運営基準が劣悪であったために設置にあたる事業者が少なかった。慈啓会においては昭和41年4月に「慈啓会特別養護老人ホーム」を開所し、北海道内では最初の設置となった。施設が養老院だった頃は、施設の老朽化が甚だしく、院内で生活するお年寄りへの処遇は決して近代的なものではなかったため、直ぐにでも改築に取りかかるべき状態であった。昭和40年7月1日新設工事に着手し、翌年2月に新築工事が完了した。この建設工事は、養護老人ホームの老朽改築と同時に行われたもので、特別養護老人ホームはその併設として建設された。従って、養護老人ホームと特別養護老人ホームの両施設は、同一建物の内に共存し、有機的に設備を共有し、乏しく狭い設置基準を合理的に補い、少ない人員で最大の効果をあげられるように計画された。その後、養護老人ホームは、隣接地に移ることになり、昭和60年3月には移転工事が完了した。続いて同年12月、特別養護老人ホームは全面改築されて、それぞれが別の施設建物となった。更に、平成10年9月入所者の生活の場にふさわしい居住環境設備と地域の要望に応えることが出来るように、また、デイサービス等在宅サービス事業に対応する為に増築した。続いて、平成16年3月、一部3名室であった本館を取り壊し、小規模生活単位型（ユニットケア）特別養護老人ホームを改築した。デイサービスセンター、訪問介護ステーション、短期入所、慈啓会介護総合相談センター、中央区在宅介護支援センター旭ヶ丘等を併設している。



創立時の施設の写真



現施設の写真

慈啓会老人保健施設



施設長
小関利行

- ① 所在地：064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番48号
電話番号：011-520-8085 FAX：011-520-8092
- ② 開設年月日：平成10年10月1日 札幌慈啓会老人保健施設開設
- ④ 創立者名：社会福祉法人 札幌慈啓会 理事長 太田眞琴
- ⑤ 理事長名：太田眞琴
- ⑥ 関係寺院名：北縁山新善光寺
- ⑦ 定員：90名
- ⑧ 職員数：施設長＝1名 総数＝60名
給食関係、清掃関係については外注。
- ⑨ 施設面積：建物＝5,784.68㎡ 敷地＝28,212.96㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

社会福祉法人札幌慈啓会が創立以来、保健・医療・福祉の一体化を目指し事業の拡大を続け、その一環として地域の要請に応えるべく、老人福祉の一翼を担うために開設したものである。同一敷地内には、養護老人ホーム・特別養護老人ホーム及び病院が棟続きで併設され、有機的な連携を図りトータルケアを実践している。



創立時の施設の写真

慈啓会ふれあいの郷（養護老人ホーム）



施設長
原一男

- ① 所在地：006-0835 札幌市手稲区曙5条2丁目2番17号
電話番号：011-682-1821 F A X：011-685-6611
- ② 開設年月日：平成12年11月1日慈啓会ふれあいの郷養護老人ホーム・生活支援ハウス
- ④ 創立者名：社会福祉法人 札幌慈啓会 理事長 太田眞琴
- ⑤ 理事長名：太田眞琴
- ⑥ 関係寺院名：北縁山新善光寺
- ⑦ 定員：100名の他 生活支援ハウス=20名
- ⑧ 職員数：施設長=1名 総数=24名
給食関係、清掃関係については外注。
- ⑨ 施設面積：建物=4,740.4㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

昭和48年札幌市から管理運営を委託されていた札幌市稲明園（軽費老人ホームB型）を解体し、介護保険制度施行後の特別養護老人ホームからの受け入れ施設として設立。生活支援ハウスは都市型では第1号の施設となった。地域に開かれた施設として、地域交流センターも併設され住民との親睦、地域社会との交流を図れる施設として開設した。



現施設の写真

札幌市菊寿園（軽費老人ホーム〈A型〉）



施設長
川島志緒里



現施設の写真

- ① 所在地：003-0805 札幌市白石区菊水5条1丁目8番14号
電話番号：011-821-3028 FAX：011-821-3046
- ② 開設年月日：昭和45年9月1日軽費老人ホーム（A型）札幌市菊寿園開園
- ④ 創 立 者 名：札幌市
- ⑤ 理 事 長 名：太田真琴
- ⑥ 関係寺院名：北縁山新善光寺
- ⑦ 定 員：50名
- ⑧ 職 員 数：施設長 = 1名 総数 = 14名
- ⑨ 施設面積：敷地 = 1,818㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

昭和45年、札幌市が軽費老人ホーム（A型）菊寿園を設置する。全国初の試みとしてこの施設の運営管理の一切を、当慈啓会に委ねるといふ、いふなれば公設民営による新方式の一翼を担うこととなり、関係方面の注目をひいた。1階より3階まで老人ホーム、4階以上は日本住宅公団の一般アパートである。1階には保育所も併置されていて、子供たちと老人とのふれ合いも考慮された設計である。公団アパートには、その家族も入居出来て、生活を別にしなが同一の建物内に住めるというまさに、三世代生活住居という構想の下に、札幌市当局の配慮によって実現した施設である。入居者の健康管理と住みよい環境作りを重点にしている為、定期的な医師の診療と、健康診断を行い、専任の看護師も常勤している。平成4年には、設備保全工事として、給水、排水、暖房、換気、電気設備の改修が行われている。その他、自動消火器設備、手すりの取り付け、ウォシュレット便器、玄関自動ドア化等環境設備を逐次行っている。

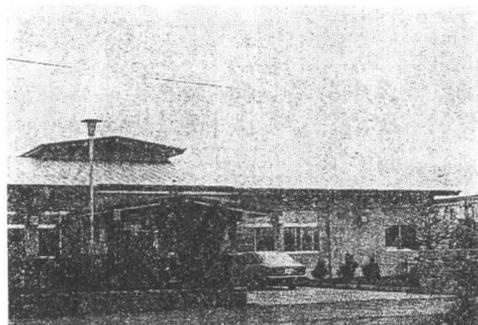
札幌市稲寿園（特別養護老人ホーム）



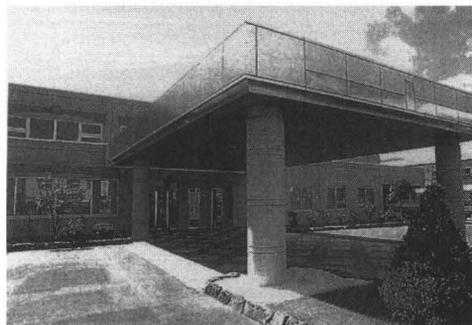
施設長
池田浩

- ① 所在地：006-0835 札幌市手稲区曙5条2丁目21番
電話番号：011-682-2160 FAX：011-682-1751
- ② 開設年月日：昭和47年1月20日 特別養護老人ホーム札幌市稲寿園
- ④ 創立者名：札幌市
- ⑤ 理事長名：太田真琴
- ⑥ 関係寺院名：北縁山新善光寺
- ⑦ 定員：100名のほか短期入所10名
- ⑧ 職員数：施設長＝1名 総数＝107名
- ⑨ 施設面積：建物＝3,752㎡ 敷地＝8,479㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

昭和45年、全国では珍しい公設民営による施設として、札幌市が軽費老人ホーム（A型）菊寿園を設置したのをきっかけに、47年に稲寿園が開園した。この施設の入園者は心身に障害のある、いわゆる要介護老人であり、医師と4名の専任看護師らによって老人たちの健康を管理している。園内には階段がなくスロープになっており、歩行可能な人達はもちろん、車椅子の人も気軽に移動できるような設計となっている。園内の設備は入園者以外に地域の人々にも開放して施設の高度利用と地域住民への奉仕に努めている。その後、平成6年には全面改修し、デイサービスセンター、訪問介護ステーション、短期入所、手稲区在宅介護支援センター曙等地域のニーズにあった事業を開始した。



創立時の施設の写真



現施設の写真

札幌市稲明園（軽費老人ホーム）

- ① 所在地：006-0835 札幌市手稲区曙5条2-2-17
電話番号：011-682-2473
- ② 開設年月日：昭和48年2月17日軽費老人ホーム札幌市稲明園を開設する
- ④ 創立者名：札幌市
- ⑤ 理事長名：太田隆賢
- ⑥ 関係寺院名：北縁山新善光寺
- ⑦ 定員：50名
- ⑧ 職員数：3名 職種ごとに
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

昭和45年の菊寿園の設立を契機にして、札幌市は47年に稲寿園を設置開園し、その翌年には、稲寿園の隣にお年寄りがある程度自立して生活するための施設として稲明園を設置した。施設の構造はアパート形式の建物になっており、自活するための諸設備が整っている。この施設では孤立して自由な生活ができるだけに、入居者同士のコミュニケーションが疎かにならないように、集団的な行事を取り入れ相互の融和と親睦を深め、明るい共同生活が出来るよう配慮されている。入居者の健康管理については、慈啓会の全面的な協力を得て、定期検診等を実施し、健康の維持と明朗で住み良い環境作りに努めている。

平成13年1月31日廃止

札幌市拓寿園（軽費老人ホーム〈B型〉）



施設長
松尾省吾

- ① 所在地：002-0857 札幌市北区屯田7条7丁目1番22号
電話番号：011-772-2105 FAX：011-772-2106
- ② 開設年月日：昭和50年3月1日軽費老人ホーム（B型）札幌市拓寿園開園
- ④ 創立者名：札幌市
- ⑤ 理事長名：太田眞琴
- ⑥ 関係寺院名：北縁山新善光寺
- ⑦ 定員：50名
- ⑧ 職員数：施設長＝1名 総数＝3名
- ⑨ 施設面積：敷地＝1,441.28㎡ 土地＝1,625㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

札幌市は昭和48年、全国に先駆けて、市内西区に軽費老人ホーム（B型）稲明園を設置した。その頃北区内には、老人の福祉施設がなかったこともあって、区内の住民間に大きな反響を呼び、いち早く「老人福祉施設設置促進会」を組織し、区民上げて設置に努力することになった。そして昭和50年春、軽費老人ホーム（B型）拓寿園が誕生したのである。



現施設の写真

慈啓会病院



院長
川原田信

- ① 所在地：064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番50号
電話番号：011-561-8292 FAX：011-551-3862
- ② 開設年月日：昭和23年11月8日 札幌慈啓会病院
- ④ 創立者名：社会福祉法人 札幌慈啓会 理事長 若木賢祐
- ⑤ 理事長名：太田眞琴
- ⑥ 関係寺院名：北縁山新善光寺
- ⑦ 定員：235名
- ⑧ 職員数：院長 = 1名 総数 = 191名
給食関係、清掃関係については外注。
- ⑨ 施設面積：敷地 = 6,436.97㎡ 敷地 = 28,212.96㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

昭和23年、養老院の付属病院として設立、福祉と医療の両面から、高齢者の健康と生活を支えてきた。昭和46年老年医学の研究機関として、財団法人北海道老年医学研究振興会を設立し老人の特性を研究したり、医師の研究施設（日本老年医学認定医教育施設）としても、貢献し更なる充実を目指している。

施設の老朽化に伴う全面改築が、現在進行中である。（竣工予定18年11月）

社会福祉法人 マハヤナ学園



創立者
長谷川良信



現理事長
菊地悦子

- ① 所在地：114-0063 東京都板橋区前野町5-7-10
電話番号：03-3960-1990
- ② 設立年月日：大正8（1919）年1月15日創立
- ③ 法人認可日：昭和22（1947）年財団法人マハヤナ学園に組織変更する
昭和27年5月社会福祉事業法施行により社会福祉法人マハヤナ学園に組織変更する
- ④ 創立者名：長谷川良信
- ⑤ 創立者の略歴
創立者の長谷川良信は、明治23年10月11日、茨城県茨城郡南山内村で生まれた。6才の時に、得生寺の住職のもとで得度して仏縁を結び、15才で上京し、東京・芝の浄土宗立芝中学校に入学して東京での生活をはじめた。同43年、芝中学校を卒業し宗教大学（現・大正大学）予科に入り、2年後には同大学本科に入学している。大学時代に良信師は、当時社会事業や仏教研究に精力的な活動をしていた渡辺海旭に強く師事し、深川の西光寺で寝食を共にする事もあった。大正7年3月、方面救済委員に委嘱されて、スラムなどでの当時の貧民の生活状況の調査と対策の検討にあたった。貧民の窮状を知った良信師は、西巢鴨にあった通称「二百軒長屋」と呼ばれる細民地区に単身で居住し、研究室の学生と共にセトルメント活動の拠点として事業を開始した。およそ3ヵ月にわたる地域活動の実践を経て、同8年1月このセトルメントを組織的、系統的に実行するために同志の協力を得て、マハヤナ学園の創設に踏み切ることとなった。良信師は、社会事業を始めとして教育事業も手懸けており、女子の高等教育への取り組みとして、同14年に大乘女子学園を設立した。又、社会事業家の養成を図るために、昭和36年に淑徳短期大学に社会福祉科を開設し、同40年、千葉の大巖寺の敷地に淑徳大学社会福祉学部を創設した。淑徳大学の設立が基となって良信師は「大巖寺文化苑」という寺院、大学、福祉施設と一体化した地域福祉のモデルを創設し、宗教、社会事業、教育の三位一体という師の主張する理念の具体化をはかった。
- ⑥ 関係寺院名：大巖寺
- ⑦ 理事長名：菊地悦子
- ⑧ 施設及び施設長名：施設名
マハヤナ学園撫子園 施設長 菊地悦子
マハヤナ第二保育園 高橋康雄
北前野小学校学童クラブ 菊地悦子
- ⑨ 定員：マハヤナ学園撫子園（60名）
マハヤナ第二保育園（90名）

北前野小学校学童クラブ（45名）

⑩ 職員数

マハヤナ学園撫子園	(常勤職員)	園長 = 1名 保育士・指導員 = 20名 栄養士 = 1名 調理員 = 4名 事務員 = 2名 計27名
	(非常勤職員)	嘱託医師 = 1名 心理職員 = 1名 福祉業務員 = 2名 計4名
マハヤナ第二保育園	(常勤職員)	園長 = 1名 保育士 = 17名 看護師 = 1名 栄養士・調理員 = 4名 事務員 1名 計24名
	(非常勤職員)	短時間保育士 = 3名 保育補助 = 2名 計5名
北前野小学校学童クラブ	(常勤職員)	指導員 = 2名
	(非常勤職員)	指導員 = 1名 計3名

⑪ 創設の趣旨及び沿革

大正8年4月、「マハヤナ学園創立趣旨及規則」が発行された。この書面は一枚の用紙の裏と表に印刷してあり、表の「創立趣意書」で現下社会問題の解決方法と学園創立の意義を述べ、学園事業の三方針として、講壇的社会事業の普及、総合的済貧計画の実行を掲げている。学園名の「マハヤナ」であるが、これは梵語の「マハヤーナ」に由来し、その名付け親は長谷川の恩師である渡辺海旭であった。学園関連の施設については、「本部ヲ東京ニ置キ、必要ノ地ヲ選ビテ支部ヲ置ク」として、設立当初から遠大な構想があった。昭和にはいり、東京の松江（のちの小松川）、板橋、千葉の房総、茨城の真壁などに分園や姉妹施設を次々に設置するに至った。設立の目的としては、「大乘仏教ノ精神ニ則リ諸種ノ社会改良事業ヲ行フ」事を掲げ、これを達成するために事業部を置き、九種類の事業に取り組んだ。これは「創立趣意書」に言う「大乘仏教の精神に依遵し（中略）総合的組織的済貧計画を含む」とする考えに対応するものである。その九種類の事業とは、夜学部、保育部、倶楽部、慰問部、医療部、講演部、相談部、出版部、調査部である。このうち、夜学部と相談部は創立前の実用夜学会と人事相談に端を発するもので、創立と同時に開始された。

後に医療部はマハヤナ中央病院となり、夜学部は大乘女子学院の創立を経て学校に組織変更し、巢鴨女子商業高等学校を経て大乘淑徳学園へと発展する。

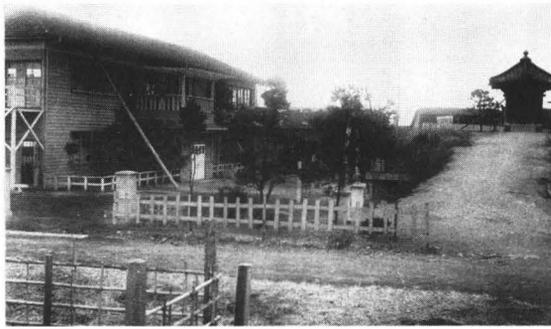
一方、社会事業については昭和17年（1942）以降、戦況ますます熾烈となり、学園事業は銃後の備えに組み込まれ、広範な隣保事業は次々と廃止・縮小のやむなきに至り、昭和20年（1945）以降は戦争被災者の救済に力を注ぎ、途中中断した時期もあったが、保育事業や診療活動は細々ながら継続していた。昭和23年（1948）に児童福祉法が施行されるに伴い、保育園を同法に基づくマハヤナ保育園とし、また巷にあふれる戦災孤児や被災者や引揚者の乳幼児の保護・養育のため、養護施設（児童養護施設）、乳児院を開設、以後は児童福祉事業に集約・発展し現在に至っている。

マハヤナ学園撫子園(児童養護施設)



施設長
菊地悦子

- ① 所在地：174-0063 東京都板橋区前野町5-7-10
電話番号：03-3960-1990 F A X 03-3960-1262
- ② 開設年月日：昭和23（1948）年9月マハヤナ学園本館内に養護施設（児童養護施設）・乳児院を開設
昭和25年7月養護施設を板橋区前野町（現在地）に移転し「撫子園」とする
- ④ 創立者名：長谷川良信
- ⑤ 理事長名：菊地悦子
- ⑥ 関係寺院名：大巖寺
- ⑦ 定員：60名
- ⑧ 職員数：（常勤職員） 園長＝1名 児童指導員・保母＝20名 栄養士＝1名
調理員＝4名 事務員＝2名
（非常勤職員）嘱託医師＝1名 心理職＝1名 福祉業務職＝2名
- ⑨ 施設面積：敷地＝1833.31平方メートル
建物＝1629.95平方メートル
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革
児童福祉法の第14条によると、児童福祉施設とは、保護者のいない児童、虐待を受けた児童、その他環境上保護を要する児童を収容して養育・保護する施設である。撫子園の入所の理由は、保護者の家出・病気・死亡等、置き去り児、家庭環境の不適（保護者の養育放棄）等である。児童福祉法が制定されて、昭和23年9月豊島区本部内に養護施設と乳児院を設立した。同25年5月に乳児院を廃止し、同年7月養護施設を現在地に移し撫子園と改称し、本園の二大児童福祉事業として成立するに至った。同36年には円形園舎が落成、三笠宮妃殿下を招いて落成式を挙げた。同50年以降には園舎の施設整備が行われ、同54年4月からは3ヵ年計画で抜本的な処遇・勤務体制等の改変を開始する。又、同57年9月に児童棟の大規模修繕を実施する。その後も環境整備の促進を図り、平成12年には創立80周年記念事業としての園舎全面改工事を行い、現在に至っている。



板橋移転当時



現施設の写真

マハヤナ第二保育園



施設長
高橋康雄

- ① 所在地：174-0063 東京都板橋区前野町5-24-10
電話番号：03-3960-2850
- ② 開設年月日：昭和28（1953）年9月1日開設
- ④ 創立者名：長谷川良信
- ⑤ 理事長名：菊地悦子
- ⑥ 関係寺院名：大巖寺
- ⑦ 定員：90名
- ⑧ 職員数：（常勤職員） 園長 = 1名 保育士 = 14名 調理員等 = 4名 看護師 = 1名
（非常勤職員） 嘱託医師 = 1名
- ⑨ 施設面積：敷地 = 660平方メートル
建物 = 698.13平方メートル

⑩ 創設の趣旨及び沿革

マハナヤ学園の保育は、大正時代、学園発祥地である西巢鴨の当時「二百軒長屋」といわれる老朽化した長屋が密集する地域ではじめた託児事業に端を発する。

本園は、戦後板橋区前野町に養護施設（児童養護施設）の撫子園、大乘淑徳学園の各校が整備されていく中で昭和28年4月、創立者により学園に隣接して開設されている。

折りしも昭和20年代後半は戦後のベビーブームで乳幼児が多くなった時期であり保育施設の需要が増大していた。工場、農家、一般住宅に加えて戦後は都営住宅が増え、児童の保育を切望する家庭が急増しつつあるなかで地元のニーズに応えるために誕生したものである。

その後、保育需要の増大に応えるために昭和52年4月には現在の場所に移転改築し定員増と0歳保育を開始した。

北前野小学校学童クラブ

- ① 所在地：174-0063 東京都板橋区前野町5-44-3
電話番号：03-3966-8824
- ② 開設年月日：昭和43年7月21日（板橋区より委託平成13年4月1日）
- ④ 創立者名：東京都板橋区
- ⑤ 理事長名：菊地悦子
- ⑥ 関係寺院名：大巖寺
- ⑦ 定員：45名
- ⑧ 職員数：（常勤職員） 指導員2名 （非常勤職員1名）
- ⑨ 施設面積：鉄筋2階建 94.37㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

昭和43年7月の東京都板橋区の直営施設として設立、経営してきたが、平成12年に至り、区の方針として、民間のもっている知識・技能・人材の活用と区の経費の節減を図る目的で区立施設の民間委託が決定した。当法人が最初の委託先として区より依頼され、平成13年4月1日より受託運営を開始した。

当初、民間委託は「保育水準が下がる」「営利主義になる」などと反対する動きがあったが、民間施設の利点を発揮した日常の保育や行事、職員の態度に保護者や児童からの評判もよく、平成14年度以降は利用児童が増加し、板橋区の好評を得て現在に至っている。

社会福祉法人 光明会



理事長
森節雄

- ① 所在地：168-0081 東京都杉並区宮前3-10-8
電話番号：03-3332-2567
- ② 設立年月日：昭和8（1933）年1月20日
- ③ 法人認可日：昭和13年10月社会事業法の適用認可を受ける
昭和22年3月財団法人に組織変更する
昭和23年1月児童福祉法による養護施設（児童養護施設）として認可される
昭和27年5月社会福祉法人光明会に組織変更
- ④ 創立者名：森芳俊
- ⑥ 関係寺院名：新光明寺
- ⑦ 理事長名：森節雄
- ⑧ 施設及び施設長名：施設名
社会福祉法人光明会杉並学園
施設長
河津道比古
- ⑨ 定員：光明会杉並学園（35名）
- ⑩ 職員数 法人＝施設職員の一部が兼務
- ⑪ 創設の趣旨及び沿革

光明会の設立は、昭和8年1月20日、仏教精神による児童施設（児童養護施設）として創立者森芳俊が自己の所有する土地及び建物を提供して現在地に学園を発足したことに始まる。創立当初からの児童の指導方針として、「仏教精神に基づき、集団生活を通して正しい生活習慣を身につけるように、基本的な生活態度の確立を目指す」ことを掲げていた。「児童虐待防止法」施行とともに東京都知事より被虐待児童収容保護委託施設の指定を受ける。昭和22年3月に財団法人に組織変更し、翌23年1月には児童福祉法による定員50名の養護施設として認可を受けた。同27年5月、社会福祉法人光明会に組織変更の認可を受ける。同53年4月以降定員を漸減し、現在35名定員となっている。在園児童は、児童福祉法により保護を必要とする3歳から18歳までの者で、幼稚園、小中学校、高校及び専門学校等に通学している。学園で成長し社会に巣立っていく者は多く、各自が自分に適した道に進み、社会人として活躍している。

光明会 杉並学園



施設長
森節雄



現施設の写真

- ① 所在地：168-0081 東京都杉並区宮前3-10-8
電話番号：03-3332-2567 F A X 03-3334-7905
- ② 開設年月日：昭和8（1933）年1月20日
- ④ 創立者名：森芳俊
- ⑤ 理事長名：森節雄
- ⑥ 関係寺院名：新光明寺
- ⑦ 定員：35名
- ⑧ 職員数：園長＝1名 事務員＝1名 児童指導員＝6名
保育士＝7名 栄養士＝1名 調理員＝3名 非常勤＝2名
（平成18年3月31日現在）
- ⑨ 施設面積：敷地：1200.58平方メートル
建物：1113.61平方メートル

⑪ 運営方針

仏教精神に基づき、集団を通して正しい生活習慣を身につけさせ、基本的な生活態度の確立を目指す。学習指導、余暇活動等、日常生活を通じ各自の自主性を尊重し、且つ伸長を図る。又、日々のふれあいの中から人間関係や社会的認識を深め、より望ましい人間性の回復を目指す。

処遇内容

（幼児の保育）

原則として3歳以上の幼児は幼稚園に通園し、3歳未満の幼児は園内保育を行う。特に、3歳未満の幼児の場合は、子供の心身の状態に応じた生活を心掛け、健やかな成長発達を促すことに努めている。その他に、幼児において精神発達遅延がみられるケースでは、他機関と相談の上、障害児の幼児教室への通園などの対応も行っている。

（高齢児処遇）

高校生、専門学校生など的高齢児は、部活や遠距離通学などで帰宅時間が遅くなる場合が多く、小中学生と同じような生活の時間帯では対応しきれない。子供からの報告や連絡、あるいはさまざまな相談ごとは夜の時間帯が多くなる。子供の側の日課時間の変更が必要な場合は、大人（職員）側の勤務体制の変更も含めて彼らのニーズに応える方法を考慮している。

社会福祉法人 上田明照会



理事長
横内浄真

- ① 所在地：386-0011 長野県上田市中央北2丁目7番3号
電話番号：0268-27-6633
- ② 設立年月日：大正7（1918）年9月19日上田明照会設立
- ③ 法人認可日：昭和20（1945）年9月21日財団法人上田明照会として認可される
昭和27年5月17日財団法人上田明照会から社会福祉法人に組織変更する
- ④ 創立者名：横内浄音
- ⑤ 創立者の略歴
明治25年7月25日長野県東筑摩郡中川手村塔原（現明科町塔原）に父横内茂十、母きうの三男として出生。幼名大蔵という。明治39年上田市呈蓮寺の第26世覚誉浄海上人のもとで得度。明治41年長野市の浄土宗立五年制の教校に2年次より編入。明治45年4月宗教大学（現大正大学）に入学する。卒業後上田にもどり大正7年浄念寺を会場として宗乗研究会を発足させる。同年9月19日浄仏国土成就衆生を基底として上田明照会を創設する。大正8年子供会を設立後各種社会事業を開始。同13年児童保護会を設立。同15年託児所甘露園を設立。昭和4年甘露園に授産所を設立。同10年母子寮見誓寮を設置。同15年藍綬褒章を受賞する。同34年知的障害児施設宝池園を設立。同40年勲四等瑞宝賞を叙勲。同42年知的障害者通所更生施設宝池慈光園を設立。同41年信毎文化賞を受賞。同43年知的障害者入所更生施設宝池月影寮を設立。同45年知的障害者通所授産施設宝池和順園を設立するとともに、上田明照会の名誉会長となる。
- ⑥ 関係寺院名：呈蓮寺
- ⑦ 理事長名：横内浄真
- ⑧ 施設及び施設長名：甘露保育園（90名） 宝池慈光園（30名）
（定員含む） 見誓寮（10世帯） 宝池月影寮（50名、入所16名）
蓮の音こども園（30名） 宝池和順園（34名）
宝池住吉寮（42名）

⑩ 職 員 数：180名

⑪ 創設の趣旨及び沿革

上田明照会は横内浄音師が、仏陀の教説に支持されてある人間形成（成就衆生）は、環境の浄化（浄仏国土）にありとの理念に基づき、大正7年9月19日に設立したものである。その設立趣旨には、「(前略)さりながら物質文化に陶醉する結果となり、国民の精神は弛緩することとなった。国民精神作興の御詔書がでて、民力の涵養を強調したものの益々物質文化のみが発展していった。印度の詩聖タゴール翁が来日、日本人は日本の尊い精神文化のあることを忘れて、いたずらに欧米の物質文化に憧れている。『これでは日本は何処へ行くか』と嘆かれたとのことである。当時の仏教寺院の状態は伝統因襲の仏陀の教示、法然上人の念仏極楽往生の大精神が現実の生活に生かされていないのではないかと、東洋殊に日本文化の基盤となっている仏教が誤りを正し、真実信仰生活に生きるのが仏教徒の使命でなくてはならない。学窓に螢雪を重ねた青年僧のなすべき急務であることを自覚したので、浄仏国土成就衆生を理念とする同志によって、厚生福祉社会実現を最大の眼目として誕生したのである」と記されている。

甘露保育園

- ① 所在地：386-0012 長野県上田市中央五丁目9番29号
電話番号：0268-22-7665
- ② 開設年月日：大正15（1926）年5月8日託児所甘露園を設置開園する
- ④ 創立者名：横内浄音
- ⑤ 理事長名：横内浄真
- ⑥ 関係寺院名：呈蓮寺
- ⑦ 定員：定員90名
- ⑨ 施設面積：敷地=1,700㎡
建物=766㎡

⑩ 創設の趣旨及び沿革

甘露園を設立した当時は、経済不況により低所得者層の生活は圧迫されており、乳幼児を抱えた母親も働かざるを得ない状況であった。働く母の代わりに育児をする施設が求められていた。そこで、当時の理事、土屋和義氏が中心となり託児所の設置が実現したのであった。大正15年5月8日、屋外労働婦人の託児施設として甘露園は開園した。その頃、託児所は主に低所得者の子が入所する施設と差別されていたが、甘露園では児童保護の立場から、有産階級の家庭の子も委託を受けて保育していた。開園時は、50人定員であったが、後の児童福祉法の制定により施設の設備拡張をはかり、幼児定員を増やしていった。その後、施設の老朽化に伴い、昭和40年に既存の建物を改築することになった。翌年の3月に新園舎が完成した。又その頃から、特に乳幼児の保育への要望が高まり、同年4月から定員を乳児14名、幼児150名へ変更の認可をうけて、乳児室の設備を施すなどの園内の環境整備を行った。改築を機に乳児保育の研究を継続し、地域社会のニーズに応える保育を目指した。保育の充実が進み、入園希望者は年々増加して、同45年4月には園児総員は180名となった。

その後、少子化等の進行もあって、定員を縮小し、現在は90名である。

見 誓 寮 母子生活支援施設

- ① 所在地：386-0012 長野県上田市中央五丁目9番29号
電話番号：0268-24-7656 F A X 0268-24-7656
- ② 開設年月日：昭和10（1935）年7月1日見誓寮（母子生活支援施設）を設置開寮
- ④ 創立者名：横内浄音
- ⑤ 理事長名：横内浄真
- ⑥ 関係寺院名：呈蓮寺
- ⑦ 定員：10世帯
- ⑨ 施設面積：敷地 = 466㎡
建物 = 286㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

昭和の初めにあつては、稼働力のある男子でさえ就職難の社会情勢にあつたので、乳幼児を抱えての婦人は職に就くことが一層困難であつた。1日に一回の食事もままならないような衣食住にも困窮する状態であつた。遂には、母子心中する結果となつたりすることが新聞で報じられるに至つていた。それを発端として、困窮した母子が暮らせる場所が必要となり、この頃に母子の生活状況に関する統計を行つていた中野氏の勧めによつて、昭和10年7月恩賜財団慶福会の補助を受け、5世帯の母子寮を設置した。その後、戦時期に入つたのでしばらく寮の増設は実施されなかつた。終戦を迎えると、戦争で夫を亡くしたなどの理由から母子家庭が増るとともに、多くの人々が家屋を焼失して住宅難が起つていたので、見誓寮を改築、増設して新たに5世帯を加えた10世帯となつた。しかし、衛生環境の不良に加えて施設の老朽化が甚だしく、施設の改築を計画した。同40年10月31日、日本自転車振興会の補助を受けて新しい母子寮が完成した。この改築で、母子は一家族一世帯の個々の生活を営めるようになり、又児童室の完備により、入寮児の生活指導の効果が期待できる母子寮に生まれかわつた。

現在は、経済的困窮を理由とする利用者は減少し、DV（ドメスティックバイオレンス）を主たる理由としての利用者が7～8割を占めている。

蓮の音こども園（知的障害児通園施設）



現施設の写真

- ① 所在地：386-0012 長野県上田市中央五丁目9番29号
電話番号：0268-25-3334
- ② 開設年月日：昭和34（1959）年9月1日設立
- ④ 創立者名：横内浄音
- ⑤ 理事長名：横内浄真
- ⑥ 関係寺院名：呈蓮寺
- ⑦ 定員：30名
- ⑨ 施設面積：敷地 = 619㎡
建物 = 306㎡

⑩ 創設の趣旨及び沿革

宝池園の設置については、阿弥陀仏の理想は慈悲心をもって、万人の衆生が真実の人生、福祉の社会生活ができるようにしたいとの誓願からである。心身障害児といえどもそれなりの能力が発揮できる幸せがなければならぬ。しかるにこの障害を抱える子供の療育・指導にあたる施設が寥たるものであった。この当時から心身に障害をもつ子供たちへの援助の遅れていたことがわかる。学校の特殊教育では、中度や重度の障害児の適正指導が困難であった。その頃に、当時の園長氏が、特殊教育の研究会で通園の制度があることに気づき、それまで教育の対象外にされていた子供たちが適切な処遇をうけられる通園施設を設置するように上田明照会に申し出た。しかし、上田市でこのような民間施設をつくろうとしたが認可されなかった。昭和33年4月、県の通園施設認可内議書を提出したが半年以上も回答がないままだった。同34年2月の施設設置の嘆願書の提出が通じて、市の児童の実態調査が行われ、その後認可申請書を提出した。ようやく国や県の承認を得て、同年9月1日に事業開始となった。その後、昭和40年に定員を40名とし、昭和49年～昭和54年にかけて地元小中学校の施設内学級が開設され、さらに上田養護学校の施設内分室が開設された。昭和58年養護学校分室閉校と同時に定員を20名とし、おもちゃ図書館を併設した。平成12年に名称を「蓮の音こども園」に改称し、定員を30名に変更して現在に至る。

宝池慈光園（知的障害者更生施設〈通所〉）

① 所在地：386-0011 長野県上田市中央北2丁目7番3号

電話番号：0268-27-6633 FAX：0268-23-5081

② 開設年月日：昭和42（1967）年4月1日設立

④ 創立者名：横内浄音

⑤ 理事長名：横内浄真

⑥ 関係寺院名：呈蓮寺

⑦ 定員：30名

⑨ 施設面積：敷地=732㎡

建物=451㎡

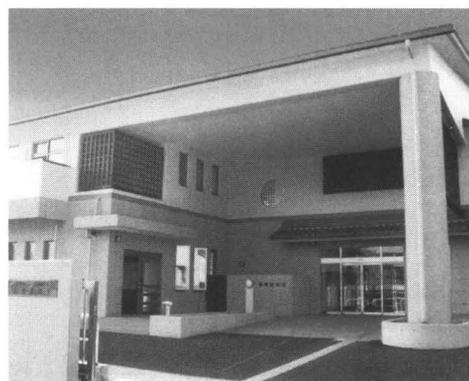
⑩ 創設の趣旨及び沿革

宝池慈光園は満18才に達した宝池園（現蓮の音こども園以下同じ）の利用者等が入所できる成人施設である。宝池園に入所している児童の両親達の切実な願いから成人施設設置への動きが始まったことが設立の動機である。児童福祉法によると宝池園の利用者は満18才に達する前日に退園を余儀なくされる。新たな受け入れ施設を求めても、県下に成人の施設は1ヵ所のみで、容易に入所はできずに順番待ちの状態であった。彼らは成人施設に入所する以外には家庭に戻るほかなかった。そこで、同会の授産所の一部に知的障害者の作業コーナーを設けた。この授産所利用による成人の授産から発展して、成人施設建設のための準備が始まった。施設の職員は児童の両親達とのつながりを深め、協力を求めた。長い努力の結果、親たちの子供や施設に対する理解が深まり、親の会の創設により団結し、訓練授産所建設に立ち上がった。同41年8月には、県や市等の一般篤志者318名の援助と、親たちが自ら出しあった資金により建設計画が始まり、翌年の3月に施設が完成し、4月に開園した。同45年同会に通所授産施設宝池和順園設立を機に定員を20名に減らしたが、昭和57年に再び定員を30名として現在に至る。

宝池月影寮（知的障害者更生施設〈入所〉）



施設長
松井清和



現施設の写真

- ① 所在地：386-0011 長野県埴科郡坂城町大字上平宇島1335-5
電話番号：0268-81-3732 FAX 0268-82-9730
- ② 開設年月日：昭和43（1968）年9月30日設立
- ④ 創立者名：横内浄音
- ⑤ 理事長名：横内浄真
- ⑥ 関係寺院名：呈蓮寺
- ⑦ 定員：入所50名 通所16名
- ⑨ 施設面積：敷地=7,506㎡
建物=2,761㎡

⑩ 創設の趣旨及び沿革

18才以上となり宝池園（現蓮の音こども園）を退園する人への職業指導と授産施設の建設は、彼らの親たちの切実な願いでもあった。宝池慈光園の建設計画の途上で、知的障害者の総合施設の建設計画が浮上し、上田市長小山一平氏によって月影寮の設置が約束されていたので、宝池慈光園の設置後に実現することになった。資金の補助も内定し、建設計画は順調に進み、昭和43年5月に工事に着手した。しかし、同年の10月1日に施設設置の最低基準の改訂が厚生省から発表され、当初の計画を一部変更しなければならなかった。予定していた20名定員を変更して、定員規模30名の施設に計画を替えた。そこで、県共同募金会の緊急配分の交付を得て、不足分の建設資金を調達した。その他に、日本自転車振興会498万円、県費補助金150万円、上田市補助金300万円、県共同募金124万9千円、自己負担金83万円余りにより、総工費1156万円余が募った。同年の9月20日には施設工事が完了して、施設の設置認可がおりた。翌年の1月、通所施設宝池慈光園の入所者15名が措置変更して入寮したのをはじめ、県下各地から入寮者5名を迎えて、施設の運営、入寮者の指導を始めたのである。

平成13年、施設建物の老朽化に伴い、坂城町へ移転改築を機に定員を50名、通所16名及びショート8名として現在に至る。

宝池和順園（知的障害者授産施設〈通所〉）



施設長
加藤章雄

- ① 所在地：386-0011 長野県上田市中央北2丁目7番3号
電話番号：0268-27-6633 FAX 0268-23-5081
- ② 開設年月日：昭和45（1970）年4月1日
- ④ 創 立 者 名：横内浄音
- ⑤ 理 事 長 名：横内浄真
- ⑥ 関係寺院名：呈蓮寺
- ⑦ 定 員：定員34名
- ⑨ 施設面積：敷地 = 793㎡
建物 = 534㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

宝池慈光園は、宝池園などの知的障害児施設を退園する人が働くための訓練作業所として誕生した施設であるが、その当時は、まだ授産施設の制度が確立していなかったため、厚生省の意向で更生施設として発足したという経緯であった。5年後、宝池和順園の開設により以前からの親の願いが実現することになった。昭和42年の夏、ライオンズクラブの村上和夫氏が宝池慈光園を訪問された際に、親の会との話し合いのなかで、「広い土地に子供たちが安心して暮らせる施設ができたなら」という意見があり、これが起因となってコロニーの建設計画の策定に至った。そこで、生活保護法の授産所が廃止の方針に決定した時点で、急遽、既存の授産所の建物を改造して新しい授産所の和順園に転用した。同45年4月、定員20名の規模で宝池和順園は開園した。この授産施設の目的は、「身体的、能力的にハンディがある等のため、一般の会社や工場での就労が困難な人が入所して、施設で職業を得て自活する」ことにある。開園の当初は、上田市内の工場の協力を得て、刺繍作業（女子）などを含めた4種類の職種を導入して、個々の入所者の適正に合った作業を行い、以来、入所者の職業適性を十分にみきわめる指導に重点が置かれている。

昭和58年に定員を30名とし、平成16年に34名に変更して現在に至る。主な授産種目は、おもちゃブロックの袋づめ、コーヒー焙煎である。

宝池住吉寮（知的障害者更生施設〈入所〉）

施設長
横内 浄真

① 所在地：386-0002 長野県上田市住吉1418-6

電話番号：0268-24-7616

② 開設年月日：昭和50（1975年）4月1日設立

④ 創立者名：横内静雄

⑤ 理事長名：横内浄真

⑥ 関係寺院名：呈蓮寺

⑦ 定員：42名

⑨ 施設面積：敷地 = 5,878㎡

建物 = 1,501㎡

⑩ 創設の趣旨及び沿革

宝池園（現蓮の音こども園）、宝池慈光園、宝池和順園、そして宝池月影寮を開設してきた延長線として、重度障害者が安心して暮らせる施設づくりが課題となった。

ライオンズクラブ、親の会会員等、多くの方の協力を得て、昭和50年に開設に至った。平成13年9月宝池月影寮移転改築に合わせて、定員を50名に減じた。

なお、障害者自立支援法が施行されたことに伴い、平成20年4月に定員を42名に減じて利用者の地域移行を進めている。

財団法人 慈友会 (児童養護施設)



創立者
椎尾辨匡

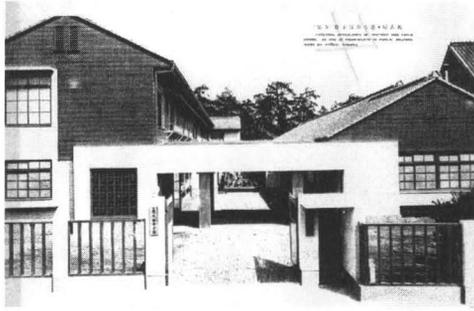


現理事長
能登正晴



施設長
岡田和幸

- ① 所在地：461-0003 名古屋市東区筒井1丁目8番27号
電話番号：052-935-2880
- ② 設立年月日：大正8（1919）年10月1日
- ③ 法人認可日：昭和13（1938）年5月
- ④ 創立者名：椎尾辨匡
- ⑤ 創立者の略歴：明治9（1876）年7月6日—昭和46（1971）年4月7日
順蓮社性譽随阿と号し、節堂ともいう。名古屋市西区新福寺町高田派円福寺椎尾順位の五男として生まれ、明治21（1888）年瑞宝寺原弁識について得度。浄土宗高等学院・第一高等学校を経て、同38年7月、東京帝国大学哲学科（宗教学）を卒業。同40年、浄土宗教学部長に就任、大正4（1915）年「釈尊よりシャンカラ、アーチャリアにいたる印度哲学」で文学博士の学位を得た。大正2年、東海中学校校長となって以来、大正大学教授・衆議院議員・大正大学学長・名古屋建中寺住職を歴任して、昭和19（1944）年、大本山清浄華院法主、同20年3月、大本山増上寺法主となった。傍ら宗教は単なる個人解脱ではなく、社会的事象であって社会的に解脱し、真の共生を全うすべきであると主張して「ともいき（共生）」運動を起こした。（『浄土宗大辞典』参照）
- ⑥ 関係寺院名：浄土宗名古屋組68ヶ寺
- ⑦ 理事長名：能登正晴
- ⑧ 施設及び施設長名：財団法人慈友会慈友学園（児童養護施設）
施設長＝岡田和幸（僧侶）
- ⑨ 定員：30名
- ⑩ 職員数：法人＝理事7名 監事2名 評議員16名
施設＝園長、事務員、ケア・ワーカー 13名 調理員3名
施設面積：敷地＝3200㎡
建物＝695㎡



創立時の施設の写真



現施設の写真

⑪ 創設の趣旨及び沿革

慈友学園の設置者「慈友会」は、浄土宗管長の訓示により名古屋市内浄土宗寺院住職と壇信徒を糾合し、仏教の精神に基づき時代に適応する社会事業を行うことを目的として、大正8(1919)年10月1日創立された。

第一次大戦後の我が国の社会不況時代を背景に椎尾辨匡博士が、若き財界の名門先代伊藤次郎左衛門氏と共に、「共生」—ともいき—運動の社会化として、社会改造問題に対処するために興した社会事業団体である。さらに浄土宗名古屋寺院あげてこの運動を推進し、保育事業・母子寮(母子生活支援施設)・職業紹介等を行ったが、保育事業は建中寺幼稚園となり、母子寮は第二次大戦中食糧事情により閉寮し、職業紹介は公立運営機関となった。昭和9(1934)年には当時の司法大臣の許可を得て少年保護事業を行い相当の成績をあげた。戦後は児童福祉法により昭和24年4月1日より養護施設慈友学園となった。慈友学園の建園の精神は故椎尾辨匡師の「ともいき運動」が基調となり、仏教の三宝と明るく正しく仲よくの三原則を中心として豊かな人間性ある人格の子どもを育てることを目標としている。

居室は、サッカーや野球も出来る南側の運動場に面し、非常に明るく5、6名を一グループとし、高校生は個室又は二人部屋としてプライバシーを確保している。

又、平成18年4月より本体施設の一画で、小規模グループケアを実施、虐待を受けるなど心に深い傷を持つ児童のうち、他の入所児童への影響が懸念される等、手厚いケアを要する児童への対応を始めた。

将来、新規事業は法人にて計画されているが、児童養護施設は家庭の味を大切にとし入所人員は増員しないという方針で、豊かな心の人づくりをつづけている。

社会福祉法人 明照浄済会



創立者
清水法隆



理事長
奥田治

- ① 所在地：516-0073 三重県伊勢市吹上2丁目5-41
電話番号：0596-28-2678
- ② 設立年月日：大正元（1912）年8月1日
大正2年4月25日事業開始
- ③ 法人認可日：昭和28（1953）年1月社会福祉事業法によって社会福祉法人明照浄済会として認可され、明照母子寮（母子生活支援施設）として施設認可を受ける
- ④ 創立者名：清水法隆
- ⑤ 創立者の略歴：

明治元年11月3日、三重県飯南郡茅度江村で殿村仙右衛門の長男として生まれる。同15年7月23日、三重県飯南郡下仁柿村のある清水厚隆の養子になる。同22年3月京都法学校卒業、同25年8月浄土宗教校卒業、明治27年5月高倉学寮終学、同30年12月浄土宗布教講習院を修了した。明治13年11月宇治山田市中之町寂照寺にて得度する。明治23年7月浄土門主鳳誉大僧正の宗戒を与えられる。同28年11月18日三重県飯南郡柿野町両泉寺、同41年3月19日宇治山田市欣浄寺兼務の住職となる。昭和18年5月11日享年76歳で逝去。

明治42年11月三重県の推薦によって、内務省主催、第14回感化救済事業講習会及び、地方改良事業講習会に出席。11月1日終了。大正2年4月同志駒田円応、井上南山、松本古月、森島誠締と相謀って、本会を創立し、無料職業紹介所、宿泊救護、釈放人保護、強化訓育の4事業の運営に当たった。同5年11月明照館と称する講堂を新築して、講演会、日曜学校或いは各種講習会を開き地域社会の福祉に尽くした。同11年3月職業紹介法によって許可を受け、明照浄済会職業紹介所と称した。昭和8年5月保育所明照園を開設した。同10年6月全施設の新築及び改築を実施して内容外観ともに面目を一新して事業の拡張を図った。

大正14年5月1日三重県社会事業協会理事に就任、昭和7年2月三重県方面委員に就任、同9年7月10日名古屋少年審判所少年保護司（司法省）に就任する。

昭和3年11月16日、社会事業功労者として内務省から銀杯を授與され、同年、賞勲局総裁から大逢禮記念章を下賜される。同4年4月29日、浄土宗管長猗下から社会事業功労表彰により念珠一連を授與され、同11年3月、浄土宗管長猗下から社会事業功労章を授與される。
- ⑥ 関係寺院名：両泉寺 三重県松阪市飯南町下仁柿
- ⑦ 理事長名：奥田治
- ⑧ 施設及び施設長名：社会福祉法人明照浄済会 総括責任者＝奥田治
母子生活支援施設サラナ 施設長＝奥田絳子

児童養護施設精華学院 施設長 = 奥田治
 児童厚生施設明照児童館 施設長 = 奥田治
 放課後児童健全育成事業明照こどもクラブ 施設長 = 奥田治
 子育て家庭支援センター^{ひいらぎ} 施設長 = 安田治

- ⑨ 定員：母子生活支援施設サラナ 20世帯
 児童養護施設精華学院 30名
 児童厚生施設明照児童館 (自由利用) 年間12,000人利用実績
 放課後児童健全育成事業明照こどもクラブ 50名
 子育て家庭支援センター^{ひいらぎ} 相談支援 (24時間年間無休)

- ⑩ 職員数：法人 = 36名 (常勤)
 他に18名 (非常勤)

施設面積：法人土地面積 = 2453.41㎡

建物 (母子生活支援施設サラナ) = 643㎡
 (精華学院) = 696㎡
 グループ、ホーム2棟 = 202㎡
 (明照児童館) = 196㎡
 (明照子どもクラブ) = 196㎡
 (職員宿舎) = 133㎡
 児童家庭支援センター^{ひいらぎ} 棟 = 119㎡



創立時の施設



現施設 (イラスト)

⑪ 創設の趣旨及び沿革

明治41年10月に内務省主催で感化救済事業の講習会が開催されたとき、清水法隆氏は県代表として受講し、社会事業開設の念をいよいよ深くし、大正元年8月25日、森島誠締、井上又兵衛、駒田圓應、松本古月とともに5名が発起者となって、明照浄済会設立の準備に入った。その設立趣意書には、次のように記載されている。「国運の進歩に伴ひ人文の発展とともに梢もすれば、因果律を無視せる悪平等の思潮汎濫して貧富相争ひ貴賤相容れざるの狀態漸く加らんとす……。吾国古代亦賑恤救済の道を講ずる史上其跡に乏しからず、聖徳皇太子の始めて仏教を我国に宣傳博し給ふや、佛陀の大滋教に則り、人の精神と共に其肉躰及び国家社会を救ひ給ふ……」とある。同2年4月本会を創設し、事業として第一に無料職業安定所、第二に共同宿泊救護所、第三が釈放人保護人、第四が強化訓育の活動を実施し、同5年11月には、地域社会の強化、並びに文化活動を目指して明照館と称する講堂を新築して、定期講演会、日曜学校、或いは各種講習会、慰安園芸会などを開催した。昭和8年4月、保育所明照園を開設して幼児の福祉を図った。同18年5月11日、清水法隆会長死去に伴い、後任として三重済美学院院長の奥田法敏氏が第二代会長に就任した。同22年4月、施設を整備及び増改築を行って戦争の惨禍によって夫を失った母子の保護に当たるため、事業を転換して母子寮 (母子生活支援施設) を開設した。そして同28年1月、社会福祉事業法によって、社会福祉法人明照済会明照母子寮の認可を受けた (定員30世帯)。更に

本会は、同29年7月、孤児等薄幸な児童の福祉を目指して児童養護施設（児童養護施設）精華学院を併設した（定員30名）。同30年4月、津市から伊勢市（旧宇治山田市）に移転した三重済美学院が障害児施設に業種変更をなし、当時入所していた児童を精華学院に移居する。当法人とは姉妹法人の関係である。同59年8月1日、明照児童館建設、開館し、地域の拠点作りを行い、児童の健全育成に努める。平成元年4月1日、精華学院〈小舎（グループホーム）〉を開設し、6名の子どもと職員による共同生活を始め、県より分園型自活訓練事業として認可される。同年11月25日、奥田法徹理事長死去に伴い、精華学院長の奥田治が第三代理事長に就任した。同8年4月1日、法人創立80周年記念事業として、第二小舎（グループホーム）を設置し、5名の子どもと職員夫婦による共同生活を始める。又、職員宿舎（個室6、世帯1）軽量鉄骨3階建を建設する。同9年4月1日、明照児童館に放課後児童健全育成事業、「明照子どもクラブ」を開設する。同10年7月1日、児童福祉法の改正により、明照母子寮を母子生活支援施設サラナとして名称変更した。

※創設の精神である、佛教の教義「佛・法・僧」の理念でもって、施設経営の基盤は現在でも脈々として流れている。そもそも施設とは、大乘教にある「開き示すもの」であり、どの時代にあっても、「子どもは社会の宝」であり、慈仁とともに守られて当然の権利である。

※同14年10月、地域の子育て支援を専門とする「子育て家庭支援センター柊」をたちあげた。

当法人の目指すものとしては、地域の子育てを見据えて、相談支援を拡大し、要保護児童対策地域協議会（伊勢市子育て家庭支援ネットワーク）を中心に主たる社会資源としての使命をもち、ショートステイ事業、レスパイト事業、家庭訪問等、ニーズに応じた民間活動を展開しつつある。

※2012（平成24年）にて100周年を迎えるための社会事業を実施する予定である。

社会福祉法人 三重済美学院



理事長兼施設長
能 次雄

- ① 所在地：516-0066 伊勢市辻久留3丁目17番地5号
- ② 設立年月日：昭和40（1965）年11月16日設置
- ④ 創立者名：能教海
- ⑦ 理事長名：能次雄
- ⑧ 施設及び施設長名：施設名 施設長
知的障害児施設 三重済美学院
知的障害者更生施設 済美寮
婦人保護施設あかつき寮
知的障害者更生施設 度会学園 大木善三朗
知的障害者デイサービスセンター すばる
知的障害者通勤センター のぞみ荘
知的障害者グループホーム 平成第一コーポ
知的障害者グループホーム 平成第二コーポ
知的障害者グループホーム 平成第三コーポ
知的障害者グループホーム 平成第四コーポ
- ⑨ 定員：105名
- ⑩ 職員数：45名（うち嘱託2名）
施設面積：建物=3263.04平方メートル
- ⑪ 創設の趣旨及び沿革

明治34年4月24日、一仏教僧（能教海）の手によって県内では民間最初となる福祉施設「三重育児院」を創立した。大正2年、当時別に設置されていた津養育院を統合し、津市丸の内殿町に施設を新築し、「三重済美学院」と改称した。

大正13年に付属事業として「精華園保育所」を開設し、昭和10年に津市母子寮及び授産場運営の受託を受ける。昭和13年、社会事業法の施行に伴い、「三重済美学院」にかかる施設について救護施設の認可を受ける。昭和20年7月27日には、津市の空襲に際し、罹災し全建物を焼失した。昭和20年10月10日、焼跡にバラックを建て、事業を開始し、同時に伊勢市に「三重済美学院宇治山田分院」（養護）を設置した。昭和21年には生活保護法の施行により、保護施設としての認可を受ける。昭和23年には、児童福祉が施行され、養護施設としての認可を受ける。昭和27年5月24日には、社会福祉事業法の施行に伴い、財団法人の組織を強化変更して、社会福祉法人を設立した。昭和31年には、養護施設を発展的に移行し、精神薄弱児施設（定員50名）としての認

可を受け、即日事業を開始した。昭和40年には、県立婦人保護施設「あかつき寮」(定員30名)の移管を受け、即日より事業を開始するとともに施設整備を行う。昭和40年には、知的障害者援護施設「済美寮」(定員55名)を設置し、昭和43年に知的障害児重度処遇棟(定員40名)が完成した。昭和45年には、知的障害者重度処遇棟(定員20名)が完成し、収容を開始した。昭和49年には、社会のニーズにこたえるため、度会郡度会町立岡に知的障害者援護施設度会学園(定員50名)を設置した。昭和49年には、多様化する対象者の福祉増進と、総合的社会福祉事業施設としての機能を発揮するため、通勤施設「のぞみ荘」(定員20名)を設置した。昭和61年には、中間施設としての通勤寮への期待が日増しに高まり、旧職員宿舎の開放とともに、サービス棟(食堂、娯楽室、洗濯室等)を増築し、第2寮として位置づけ、定員を10名増加し30名とした。昭和63年には、作業機能の拡大とともに作業量も増えたこともあり、かねて要望の強かった総合作業訓練を増築し、院内での作業とともに地域の在宅者にも開放し、施設機能強化推進事業として「さいびワークス」を設置オープンした。昭和63年には、当施設の隣接にある民間住宅1棟を賃借し、「さいびホーム」として位置づけ、成人知的障害者の速やかな社会参加のための方途を講じた。平成元年には、知的障害者を個人としてとらえ、障害者自身が自分の生活を自分できめるというノーマライゼーションの理念のもと、知的障害者4~5名を単位とした生活の場としてのグループホーム(平成第一コーポ)をオープンした。平成2年には、福祉施設における防災対策の一環として、本館・児童棟を中心にスプリンクラー設備を設け、不測の災害に対処できるよう万全を期した。また消防法の改正に即し、経過年度の古い児・者建物の排煙窓、防火扉等の整備を行い消防基準に適合するよう大改修を実施、併せて児童男子棟における過去の弄火等の危険に顧慮し、全室電気温風式暖房に切替える等、スプリンクラーを含む一連の大規模修繕を実施した。また年少児童の遊具の設置等園庭の整備をはかった。同年には、更に平成第二コーポを開設した。平成4年には、成人施設「済美寮」のうち昭和39年度に建設した寮舎の老朽化に鑑み、平成3年度において全面改築(定員のうち55名分対応)を実施し、その完成により、一・二部制(進々区・悠々区)の機能を確立した。また、この施設整備完成を期に、本院創立以来90年を迎えることを記念し、同年5月22日の大安吉日をとし、創立90周年記念式典を挙行、記念誌として「とはずがたり」を発刊し、関係各方面に配布した。

平成5年には、平成第三コーポを開設し、地域型福祉のあり方を確かなものとして機能させ、ノーマライゼーション理念の具現化をはかった。平成10年には、児童施設の従来の「竹の子寮」(男子)の改築設備が完了した。またこれより従来3ヶ所のグループホームに加え、当年度より平成第四コーポを開設、特に中高齢者を対象としてランチシステムによる実際の処遇の充実をはかった。平成10年には、デイサービスセンター小規模型より基準型(15名)の認可を受けた。平成11年には、平成第五コーポを開設、女性4名の地域生活援助事業を実施した。平成13年4月24日には、法人設立100周年記念式典を催した。平成15年4月には、デイサービス事業の通常実施地域を伊勢市・小俣町・二見町・御菌村にエリアを拡大し、児童短期入所・知的障害者短期入所事業を第2種社会福祉事業として定款変更した。また平成第六コーポを設置し運営を始めた。平成16年には、多機能型グループホーム平成第七コーポ「集」を設置し、公益事業の委託運営として伊勢志摩障害者就業・生活支援センター「プレス」を開所した。平成18年には、度会学園を知的障害者更生施設(通所)として、変更し開所した(定員30名)。同年、①障害者自立支援法施行に伴い、一体型共同生活介護事業(ケアホーム)開始。②伊勢・度会地区障害者相談支援センター委託開始(プレス)。③伊勢市・鳥羽市・志摩市・松坂市・玉城町・度会町・明和町・多気町からの日中一時支援事業委託契約を締結し、受け入れを始める。

⑫ 運営方針

組織内にある他施設との有機的な関連を保ち運営することを基本とし、ノーマライゼーションの理念を尊重し、一步でもこれが主旨に近づけるよう努力するとともに治療教育施設としての実をあげる。特に重度化滞留化の現象にてらし、作業班の構成から施設内における授産的機能の拡大とともに、近い時期において通勤寮への移行等により直接社会参加への実を上げるよう努力する。又、高齢化(重度者の症状の多様化)の著しい入所者に対する処遇の確立をはかるため、当該施設定員の半数面積の大改築により55名の重度棟を完成し、居住環境の飛躍的な整備をは

かったことにより重度者処遇の万全を期し、さきを実施した個室化として整備したことと関連しQOLの確立を期した。

済美寮施設は、昭和63（1988）年10月以来、寮機能を分化した形での「生活指導訓練」（小舎）を設置し、現措置は元の俣での社会適応力を速やかに育成することを目指し、上・下各半期毎、2名宛のユニットとしてオープン、社会参加直前段階にある対象者の就労への習熟とともに実際社会生活に適応できる人となり育成につとめる。

あかつき寮（婦人保護施設）

- ① 所在地：516-0066 伊勢市辻久留3-17-5
- ② 開設年月日：昭和41（1966）年4月1日
- ④ 創立者名：能教海
- ⑤ 理事長名：能次雄
- ⑦ 定員：30名
- ⑧ 職員数：13名（うち嘱託2名）
- ⑨ 施設面積：建物=553.94㎡
- ⑩ 運営方針

組織内にある他施設、とくに障害関係施設とは常に密接な連携と作業の拡大をはかるとともに、婦人保護事業要領に基づき、入所者の処遇の向上と更生社会参加に努める。とりわけ健全な社会に対する考え方、規律ある態度の育成をはかり、婦人としての徳性を培い、職業指導（就労の場）を通じ、将来独立した生活の営めるよう経験の広がりと対人関係の自発的な協働的調和のはかれるよう性格的ひずみの治療とともに生活習慣の再編を通じて、社会復帰の助長に努める。特に従来生活歴から厭世思想や突発的無思慮な行動に陥ることのないよう平素の生活指導の中で十分な育成に心がける。

又、地域福祉の深まるなかで、施設が真に福祉的拠点であることの意識づけを図る上からも、婦人であることの特性を地域社会の中で生かせる心優しさや思いやりを具現化する方策をはかりたい。その試みとして地域内に居住のひとり暮らし老人家庭への配食サービス等を通じて、地域内で暮らす婦人集団としての役割を生かしたい。

すばる(知的障害者デイサービスセンター)

- ① 所在地：516-0066 伊勢市辻久留3丁目17-5
- ② 開設年月日：平成8（1996）年4月1日設置
- ④ 創立者名：能教海
- ⑤ 理事長名：能次雄
- ⑧ 職員数：3名
- ⑨ 施設面積：建物=451.49㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

「障害者基本法」の趣旨に則り、施設機能のオープン化事業とともに、要援護者に対し、最も近い行政機関を核として、住み慣れた地域で誰もが、いつでもサービスが受けられるという観点から、在宅のまま、多様なライフサイクルを一つ選択肢として構築することを目途して、市行政の中に在宅者のデイサービスセンターとしてオープンしたことにより、その委託を受けて運営するものであり、公私一体化のモデル事業として運営するものである。

のぞみ荘(知的障害者通勤センター)

- ① 所在地：516-0066 伊勢市辻久留3-17-5
- ② 開設年月日：昭和49（1974）年6月1日設置
- ④ 創立者名：能教海
- ⑤ 理事長名：能次雄
- ⑦ 定員：30名
- ⑧ 職員数：6名（うち嘱託1名）
- ⑨ 施設面積：建物=600.57㎡
- ⑩ 運営方針

自立自活の習慣を身につけ、自発性自主性を育成することを第一主義とし、特に職場との密接な関連のもとに対人関係、時間、金銭管理の実際的経験領域の拡大とともに、就労の意味を十分に理解し社会人として復帰できる能力、態度、技術を習得させる。このため施設機能としてナイトケアホスピタルともいべき専門性の高まりに努力する。また、グループホームのバックアップ施設として実際社会への積極的な活動を展開する。一方、地域福祉の深まる中で、施設をより処とした障害者の地域生活（支援）センターを新設して専任のワーカーを配置し、コーディネーターとしての機能を十分に発揮できるよう努める。

度会学園(知的障害者更生施設)

① 所在地：516-2107 度会郡度会町立岡字池の奥558

電話番号：0596-62-0274

② 開設年月日：昭和49（1974）年4月1日設置

④ 創立者名：能教海

⑤ 理事長名：中村文裕

⑦ 定員：50名

⑧ 職員数：30名（うち嘱託3名）

⑨ 施設面積：敷地 = 7393㎡
建物 = 1189.11㎡

⑪ 運営方針

設置から今現在までの経過から本院各施設との連携を密にするとともに入所者の生き甲斐と地域社会の求める方向としての施設機能に応える見直しの運営に努力するとともに、重度化高齢化する現実をふまえ地域に根ざした特質ある施設づくりに努め、社会参加の機会を積極的に進める一方加齢化に対処できる安定した生活環境を整備し処遇の深まりに努力する。又、当施設利用者のうち、進行性の疾病をもつ者の平素の処遇に対応するための、特殊浴場等の設備の整備をはかった（平成元年）がこれら施設のもつ機能を広く地域に開放している。更に、地域との関連を深めながら、社会的生活に近づけていくための「生活援助」を組織的、継続的に実施し、支援制度の中地域生活を目ざしていく施設として機能、支援体制を充実させていきたい。

平成第一コーポ・平成第二コーポ (知的障害者グループホーム)

- ① 所在地：(平成第一コーポ) 516-0067 伊勢市中島2丁目17-42
(平成第二コーポ) 519-0504 度会郡小俣町宮前762番
- ② 開設年月日：(平成第一コーポ) 平成元(1989)年4月1日
(平成第二コーポ) 平成2年4月1日
- ④ 創立者名：能教海
- ⑤ 理事長名：能次雄
- ⑦ 定員：(平成第一コーポ) 4名
(平成第二コーポ) 4名
- ⑧ 職員数：(平成第一コーポ) 1名
(平成第二コーポ) 1名
- ⑨ 施設面積：(平成第一コーポ) 建物=81.91平方m²
(平成第二コーポ) 建物=56.71平方m²
- ⑩ 運営方針

(目的)

地域社会の中にある住宅において、数人の知的障害者が共同で一定の経済的負担を負い、社会人として生活し、同居あるいは市内のなるべく近隣に居住する世話人により、継続的な日常生活の援助を受けながら生活する。

(知的障害者福祉の流れ～施設福祉から地域福祉へ～)

知的障害者を個人としてとらえ、地域社会で独立して生きることを基本に施設対策一辺倒から脱却し、障害者自身が自分の生活を自分で決める自由と可能性を広げることを社会全体で考えることは、ノーマライゼーションの理念にも通じ、知的障害者の住まいの決定についての選択枠を広げることにつながる。

平成第三コーポ(知的障害者グループホーム)

① 所在地：516-0066 伊勢市辻久留3丁目20-41号

② 開設年月日：平成5（1993）年4月1日設置

④ 創立者名：能教海

⑤ 理事長名：能次雄

⑦ 定員：4名

⑧ 職員数：1名

⑨ 施設面積：建物=82.2㎡

⑩ 創設の趣旨及び沿革

グループホームは平成元年度、国の制度（社会生活支援事業）として創設されたもので、当法人としても逸速く方向づけを取り入れ、元年度に1ヵ所、次いで2年度に1ヵ所を設置し、当初は試行的な段階としてバックアップ施設の強力な支援を行ってきた。それによって、障害者の社会的自立生活として極めて有効に作用することが実証されて、さらに一ヵ所を増設して「ノーマライゼーション」の理念にも叶い「完全参加」の具体化をはかる方策としてその推進を行っている。

⑪ 運営方針 第一、第二コーポに準じる。

平成第四コーポ(知的障害者グループホーム)

- ① 所在地：516-0066 伊勢市辻久留3丁目15-8
- ② 開設年月日：平成10（1998）年4月1日
- ④ 創立者名：能教海
- ⑤ 理事長名：能次雄
- ⑦ 定員：4名
- ⑧ 職員数：1名
- ⑨ 施設面積：建物=100.2㎡
- ⑪ 運営方針

第一、第二コーポに準じるが、特色としては比較的中高齢者の入所に対応し、高齢からくる諸種の疾病等にも直ちに対応できるよう親施設の近くに位置し、緊急時又は要諸により何時でも対応できる事態を考慮した。

入居者は長く施設生活に慣れ親しんできたが、年とともに作業能力も落ちてきたことから、当人にとっては稍もすればあせりともなり、毎日の就労がハードに感じる状態でもあるので、居住の場をランチ化することにより、精神的にもゆとりと安らぎを与えることを意図したところであり、充実した余生を過ごしてもらえることを念願している。

社会福祉法人 大照学園



理事長兼施設長
細井宏俊

- ① 所在地：605-0062 京都市東山区林下町402番地
電話番号：075-531-0138
- ② 設立年月日：大正15（1926）年6月1日大照学園設立
- ③ 法人認可日：昭和15年8月16日司法省より司法保護事業として認可される
昭和35（1960）年11月11日社会福祉法人として認可される
- ④ 創立者名：竹内大観
初代理事長：細井照道
- ⑤ 初代理事長の略歴
明治25年2月18日に、香川県香川郡仏生山町大字百相で出生。香川県香川郡高松中学校を卒業し、大正4年仏教専門学校（佛教大学）を卒業した。同14年9月より浄土宗総本山知恩院に出仕し、文書課長、社会課長、庶務部長等要職に就く。同10年には、良正院の住職に、昭和4年には、法然寺の住職にもなる。華頂少年健児園長、平安養育院の常務理事なども歴任し、同12年には京都保護観察所委託保護司を、同年大阪少年審判委託保護司を、同14年5月には大照学園に就任した。法然寺においても福祉事業を行う。同40年4月には、知的障害者授産施設を、その後グループホーム、更生施設、通所授産施設事業などを行った同57年6月17日享年91歳で遷化。
- ⑥ 関係寺院名：良正院
- ⑦ 理事長名：細井宏俊
- ⑧ 施設及び施設長名：

児童部	施設長＝細井宏俊
授産部	施設長＝細井章代
更生部	施設長＝細井宏俊



創立時の施設



現施設

⑪ 創設の趣旨及び沿革

大照学園は、大正15年に司法省の認可を受けて、要保護少年の補導を目的とした私立矯正施設として、京都市下京区富小路通5条南、浄土宗「本覚寺」境内塔頭玄昌院跡地に誕生した。この事業は、「佛教教旨ニ遵ヒ、信仰生活ヲ基調トシテ過去ノ行為ニ対シ自覚反省心ヲ起サシメ報恩会社ノ精神ヲ培ヒ規律的生活ニヨリ心身ヲ鍛練シ実課作業ヲ課シテ勤労ノ習慣ヲ馴致セシメ…」ることを目的として始められた。大正10年に細井照道師が良正院の住職となり、昭和14（1939）年5月には、学園長に就任した。同24年少年法の改正により、保護少年施設を廃止し、同年4月に聴覚障害児施設として再発足した。同26年6月、現在地に施設を移転し、同32年、細井弘順氏が学園長に就任。同37年3月聴覚障害児施設を廃止し、同年4月に知的障害児施設として生まれ変わり、同43年には、知的障害者通所授産施設を併設する。同57年6月17日、初代理事長細井照道師が91歳で遷化され、二代目理事長細井弘順（平成16年遷化）を経て現理事長に受け継がれて現在に至っている。

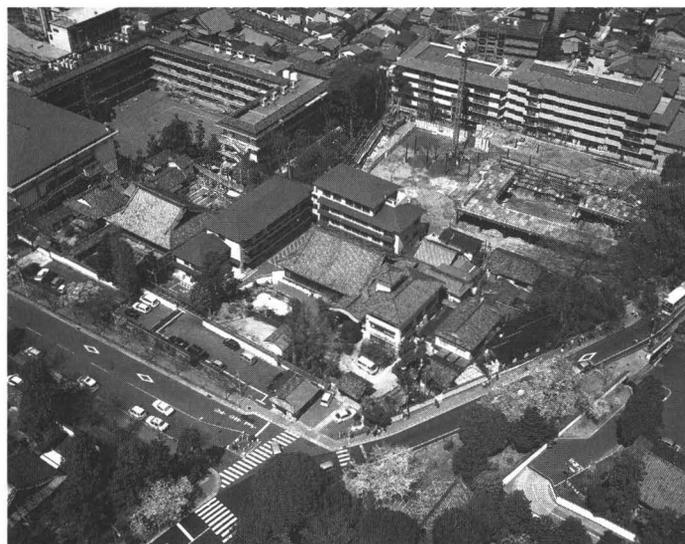
大照学園 更生部(知的障害者施設)

- ① 所在地：605-0062 京都市東山区林下町402番地
電話番号：075-531-0138
- ② 開設年月日：平成11年4月1日設立
- ④ 創立者名：竹内大観
- ⑤ 理事長名：細井宏俊
- ⑥ 関係寺院名：良正院
- ⑦ 定員：30名
- ⑧ 職員数：施設長 = 1名 指導員 = 11名 その他(調理師等) = 1名
- ⑨ 施設面積：建物 = 835.86㎡

大照学園 児童部(知的障害児施設)

- ① 所在地：605-0062 京都市東山区林下町402番地
電話番号：075-531-0138
- ② 開設年月日：昭和37年4月1日設立
- ④ 創立者名：竹内大観
- ⑤ 理事長名：細井宏俊
- ⑥ 関係寺院名：良正院
- ⑦ 定員：30名
- ⑧ 職員数：施設長＝1名 指導員＝5名 保育士＝7名 その他（調理等）＝4名
- ⑨ 施設面積：建物＝804.69㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

知的障害者児を入所させ、保護するとともに独立自活に必要な知識技能を与える。親元を離れての生活施設なので学齢児はここから通学（小学校、中学校、養護学校）する。園では将来に向けて日常生活の訓練に取り組む。直接指導員は、親・兄弟・あるいは指導員として幾通りもの技術を身につけて生活を共にする。園生は高等部終了の段階で、就職、家庭に帰る、成人施設へ入所、在所期間延長のいずれかの道を進む。



現施設全景

大照学園 授産部 (知的障害者通所授産施設)



施設長
細井章代

- ① 所在地：605-0062 京都市東山区林下町402番地
電話番号：075-53-0138
- ② 開設年月日：昭和43年1月1日設立
- ④ 創立者名：竹内大観
- ⑤ 理事長名：細井宏俊
- ⑥ 関係寺院名：良正院
- ⑦ 定員：50名
- ⑧ 職員数：施設長 = 1名 指導員 = 10名 その他（調理師等） = 1名
- ⑨ 施設面積：建物（木造瓦葺2階建） = 160㎡
（鉄筋コンクリート造瓦葺3階建） = 344㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革
社会人として自立する事が困難な人が契約により入所。18歳以上から入所資格がある。原則として、単独で通所可能な者。園では陶芸、下請け作業、紙工等の作業に従事する。

社会福祉法人 平安養育院



創設者
丹治直次郎氏夫妻



理事長
佐藤諦学

- ① 所在地：605-0062 京都市東山区新橋通大和大路東入三丁目林下町400番地の3
電話番号：075-561-0680 / 561-3039 IP電話 050-3385-3771
FAX：075-533-3975
e-mail：heianyouikuin@siren.ocn.ne.jp
- ② 設立年月日：明治38（1905）年4月1日
- ③ 法人認可日：明治39（1906）年10月財団法人平安養育院設立
昭和27（1952）年5月社会福祉法人に組織変更
- ④ 創設者：丹治直次郎氏夫妻
- ⑤ 創設者の略歴：実業家
- ⑥ 関係寺院：総本山知恩院
- ⑦ 理事長：佐藤諦学
- ⑧ 施設及び施設長名：施設名
児童養護施設 平安養育院 施設長 大橋紀雄
知的障害児通園施設 むくの木学園 渋谷千鶴
青少年自立援助ホーム 東樹 龍尾和幸
- ⑩ 職員数：法人=56
施設面積：敷地=3,200㎡
建物=2,503.47㎡
- ⑪ 創設の趣旨及び沿革
1905年実業家丹治直次郎氏夫妻が別荘を開放し、日露戦争孤児、被災母子の援助を行う「平安養育院」を創設。
1918年に知恩院教団に運営委譲され、以来浄土宗総本山が設立する財団となる。
1952年以降社会福祉法人となり現在に至っている。
社会福祉法人平安養育院は児童養護施設平安養育院のほか、知的障害児通園施設むくの木学園、青少年自立援助ホーム東樹を設置運営している。

平安養育院（児童養護施設）

- ① 所在地：605-0062 京都市東山区新橋通大和大路東入三丁目林下町400番地の3
電話番号：075-561-0680 / 561-3039 IP電話 050-3385-3771
FAX：075-533-3975
e-mail：heianyouikuin@siren.ocn.ne.jp
- ② 開設年月日：明治38（1905）年4月1日
- ⑦ 定員：60名
- ⑧ 職員数：37名
- ⑨ 施設面積：建物 = 1,914.42㎡



設立時の平安養育院



平安養育院

むくの木学園 (知的障害児通園施設)

- ① 所在地：605-0062 京都市東山区新橋通大和大路東入三丁目林下町400番地の3
電話/FAX番号：075-551-2116
e-mail：mukunokigakuen@yahoo.co.jp
- ② 開設年月日：昭和48（1973）年12月1日
- ⑦ 定員：30名
- ⑧ 職員数：14名
- ⑨ 施設面積：建物 = 351.05㎡



むくの木学園

東樹 (青少年自立援助ホーム)

- ① 所在地：605-0062 京都市東山区新橋通大和大路東入三丁目林下町400番地の3
電話/FAX番号：075-551-5656
e-mail：touju@mbox.kyoto-inet.or.jp
- ② 開設年月日：平成6（1994）年6月1日
- ⑦ 定員：10名
- ⑧ 職員数：5名
- ⑨ 施設面積：建物 = 238㎡



東樹

社会福祉法人 公徳会

公徳学園（児童養護施設）



理事長
山田瑞祥

- ① 所在地：577-0025 大阪府東大阪市新家3丁目7番8号
電話番号：06-6781-0236
- ② 設立年月日：大正12（1923）年11月15日
- ③ 法人認可日：大正12（1923）年11月15日 司法大臣認可
：昭和24（1949）年12月1日 財団法人組織とする
昭和27（1952）年5月17日 社会福祉法人へ組織変更
- ④ 創立者名：山田霊祥
- ⑤ 創立者の略歴：楠根山 観音寺住職
- ⑥ 関係寺院名：楠根山 観音寺
- ⑦ 理事長名：山田瑞祥
- ⑧ 施設及び施設長名：

施設名	施設長
児童養護施設 公徳学園	山田祥隆
マーヤ保育園	山田和子
- ⑨ 定員：110名
- ⑩ 職員数：45名
施設面積：敷地 約4,306㎡
建物 約延2,520㎡
- ⑪ 創設の趣旨及び沿革

大正12年11月15日「仏の慈悲」を信条に、大阪少年審判所の委託少年を入所させる目的をもって、司法大臣の認可を得て、観音寺住職山田霊祥師が、私財を投じて「大阪少年公徳学園」を設立しました。

昭和7年8月1日、大阪府の認可を得て、「公徳幼少年保護所」を本園に併設し、14歳未満の児童も保護するようになりました。

昭和20年12月8日に、創設者山田霊祥師が幾多の困難を克服しつつ功績を残して遷化されたので、山田瑞祥師がその遺志を受け事業継続しました。

昭和23年5月1日「公徳学園」と改称。同年6月1日児童福祉法による教護院（児童自立支援

施設)として認可され、40名の対象児童を預かるようになりました。

昭和26年2月1日養護施設(児童養護施設)に転換し、満1才から6才までの幼児70名を預かるようになりました。

昭和27年5月17日財団法人から社会福祉法人へ組織変更し、昭和35年12月1日行政の要請により定員を90名に変更し、18歳(高校三年生)までの児童も預かるようになりました。

昭和45年12月28日法人の名称を「公德会」と変更すると共に、全国に先駆けて乳幼児を対象とする児童福祉法による保育所「マーヤ保育園」(定員60名)を設立しました。

昭和47年1月1日養護施設の定員を110名に、同年5月1日保育所の定員を120名に変更し現在に至っています。

⑫ 運営方針

「自分の生活と心を大切にする」「仲間の生活と心を大切にする」「主体的に生きる力を持つ」児童の育成を目標に、31名の直接処遇職員が児童の日常生活を支援している他、2名の臨床心理士により、児童が心の問題を自ら解決できるよう援助しています。

また、多彩なボランティアが定期的に来園し、ピアノやダンスのレッスン、学習指導、遊び相手、絵本の読み聞かせ、相談相手として児童の生活や心を側面から支援して下さっています。

児童はそれぞれの所属するグループで、安心感・安定感のある日常生活を過ごしているため、皆仲良く馴染んでおり、卒園児童も休暇には里帰りとして施設に帰ってくる等、多人数の施設にもかかわらず、施設全体がアットホームな雰囲気に包まれています。更に、施設機能の社会への還元として、児童向け・保護者向けの電話相談や児童の一時預かりも実施しており、地域健全育成の一翼を担っています。

マーヤ保育園

- ① 所在地：577-0025 大阪府東大阪市新家2丁目11番49号
電話番号：06-6781-0456
- ② 開設年月日：昭和45（1970）年12月28日
- ③ 法人認可日：昭和27（1952）年5月17日
- ④ 創立者名：山田瑞祥
- ⑤ 理事長名：山田瑞祥
- ⑥ 関係寺院名：楠根山 観音寺 東大阪市新家3丁目7番4号
- ⑦ 定員：120名
- ⑧ 職員数：32名
- ⑨ 施設面積：敷地＝約1,029.01㎡
建物＝約延1,140.66㎡

⑩ 創設の趣旨及び沿革

女性の社会進出及び専門職化が進みつつある中、安心して社会復帰してもらえよう支援したいと考え、全国に先駆けて産休明けの乳児（生後43日目：当時）をお預かりする保育所を、昭和45年に創設しました。

子どもに一貫した保育をとという保護者の強い要請もあり、昭和47年に幼児もお預かりするように定員を120名に変更し、現在に至っています。

⑪ 運営方針

お釈迦様のお母様の名をいただきマーヤ保育園と名付けているとおり、働いておられる保護者に代わって、「海よりも深く、山よりも高い」母の慈愛精神を信条に、心身とも健やかに成長するよう保育しています。

また、毎月1回囑託医による診察を実施するだけでなく、看護師・栄養士によって日常的な保健・栄養指導を行い健康管理には特に重点を置いています。

0歳から就学までの長期間を過ごすので、子どもだけでなく保護者同士も連帯感をもたれるよう、卒業後も各行事に参加したりボランティアとして支援して下さっています。

更に、お預かりしている乳幼児の保育だけでなく、地域の子育ての拠点として育児相談や一時保育、親子ふれあいクラブを実施しております。

保育年齢：生後57日目の0歳児から小学校就学前児まで

保育時間：午前9時～午後5時（日・祝日を除く）

午前7時から午後7時までの延長保育を実施



現施設の写真

社会福祉法人 高津学園



理事長名
田尻玄龍



施設長名
田尻達朗

- ① 所在地：543-0017 大阪市天王寺区城南寺町1番10号
電話番号：06-6761-1663・1664
- ② 設立年月日：大正14（1925）年8月8日
- ③ 法人認可日：大正14年8月8日保護団体少年高津学園の認可を司法省から受ける
昭和24（1949）年12月27日財団法人高津学園を設立
昭和27年5月20日社会福祉法人の認可を受ける
- ④ 創立者名：田尻龍道
- ⑥ 関係寺院名：楞嚴寺
- ⑦ 理事長名：田尻玄龍
- ⑧ 施設及び施設長名：

施設名	施設長
高津学園	田尻達朗
信太学園	鶴木順子
法然寮	重永宏
知恩寮	御厨知行

⑪ 創設の趣旨及び沿革

浄土宗楞嚴寺住職田尻龍道師が、大正14年8月、大阪少年裁判所から16才の少年一人を引き取り、境内建物の一室に収容した。その際、少年法第4条第1項第5号の保護処分の規定で、保護団体「少年高津学園」の認可を司法省から受ける。昭和6年4月、大阪府知事より大阪幼少年保護所の認可を受け、各警察署よりの少年浮浪者の保護に忙殺される。同16年12月、女児収容のため報恩寮を増設。同20年6月大阪の大空襲で感恩寮、事務所の大半を焼失。同年7月、大阪府和泉市太町376、菩提寺内に園児40名を集団疎開させ、終戦後大阪市内の食糧事情の悪いことから引き続きここにとどまり、50坪の園舎を急造、信太分園と名づける。同28年2月大阪府より養護施設（児童養護施設）「信太学園」の認可を受ける。同23年7月、児童福祉法の施行により、「少年高津学園」を「高津学園」に改称し、従来大阪幼少年保護所から児童福祉施設救護院となる。翌年、財団法人高津学園を設立し、初代理事長に田尻龍道師が就任。同27年5月、社会福祉法人の認可を受ける。同29年5月に、大阪府の要請あって、救護院29年の歴史を閉じ養護施設となる。同32年6月法然寮を新設し、ろうあ児の保護を始める。同40年5月、園舎老朽のため知恩寮、報恩寮を廃止し、高津学園本館を新築する。主として里親委託を対象とした幼児を保育する。同47年、信太学園も園舎老朽のため新築する。同50年1月、高津学園更生棟を新設。平成7年9月、法然寮の老朽化で新規事業として「知的障害者更生施設知恩寮」を併設で新築する。

高津学園（児童養護施設）

- ① 所在地：543-0017 大阪市天王寺区城南寺町1番10号
電話番号：06-6761-1663
- ② 開設年月日：昭和29（1952）年5月1日
- ③ 創立者名：田尻龍道
- ⑤ 理事長名：田尻玄龍
- ⑦ 定員：100名
- ⑧ 職員数：施設長＝1名 主任＝3名 保育士＝19名
指導員＝5名 心理士＝1名 栄養士＝1名 調理員＝5名 事務員＝1名
- ⑨ 施設面積：敷地＝2,464.73㎡
建物＝1,587.19㎡
- ⑪ 運営方針
 - 1. 幼児の生活
 - 2、3歳児は、1クラス、4、5歳児は合同で2クラスに分けて複数担当制で保育にあたる。
 - 4、5歳児は大阪市立真田山幼稚園へ通園する。学園では基本的な生活習慣を身につけるよう支援する。集団生活ではあるが、個別的な関わりを大切に考え、情緒面での安定をはかるように配慮している。
 - 2. 学童の生活
 - 小学生は大阪市立真田山小学校、中学生は大阪市立高津中学校へ通学する。また、高校生は市内の公立高校へ通学する。規則正しい生活を基本にして個別的に、できるだけ柔軟に対応をする。小グループ活動を重んじ、健康面、学習面、スポーツ面でのバランスのとれた支援をする。
 - 3. 家庭養育の支援をする
 - 入所児童は、保護者のさまざまな事情で一時的に家庭から離れて生活しているが、保護者（親）との面会、外出、外泊をとおして密接な連絡をとり、早く家庭に戻れるような支援をする。保護者の来園がない児童には、週末里親の協力で家庭生活の体験と子供の心の支えになってもらう。又保護者の養育が不可能な場合には、養育里親又は養子縁組里親を紹介して家庭生活ができるような支援をする。

信太学園（児童養護施設）



施設長
鶴木順子

- ① 所在地：594-0003 大阪府和泉市太町376番地
電話番号：0725-41-0559
- ② 開設年月日：昭和28（1953）年2月1日
- ③ 創立者名：田尻龍道
- ⑤ 理事長名：田尻玄龍
- ⑥ 関係寺院名：楞嚴寺・菩提寺
- ⑦ 定員：50名
- ⑧ 職員数：施設長＝1名 主任＝1名 指導員＝3名 保育士＝7名 心理士＝1名
事務員＝1名 栄養士＝1名 調理員＝4名
- ⑨ 施設面積：敷地＝1577.40㎡
建物＝707.62㎡

⑩ 創設の趣旨及び沿革

昭和20（1945）年7月、大阪府和泉市太町376番地の菩提寺内に少年高津学園の園児40名を集団疎開させたが、終戦を迎えても大阪市内の食糧事情が悪いことから引き続きここに留まることとなった。その地に50坪の園舎を急増し、「信太分園」と名づける。同28年2月、大阪府より養護施設（児童養護施設）「信太学園」の許可を受ける。

⑪ 運営方針

（1）地域社会と密着した環境を生かす

学園には、浄土宗菩提寺の本堂、観音堂、地藏堂があり仏教的色彩が濃い。池、古井戸、松の老木、畑があり、田舎の風情を味わうことができる。この自然環境と昔からの町である太町、尾井町と新しい鶴山台団地との中で地域社会と密着した生活を行うことができる。

（2）幼児と学童の集団支援をする

2～3歳児は、学園内で担当保育士によって基本的な生活習慣を養い、4～5歳児は和泉市立幸幼稚園へ通園して地域の子どもとともに集団保育を受ける。小学生は和泉市立信太小学校へ、中学生は和泉市立信太中学校へ通学する。高校生はさまざまな公立高校へ通学する。障がい児は、大阪府立和泉支援学校で障がいの程度に応じた教育を受ける。幼稚園や学校生活を中心とした日常生活のプログラムが組まれて、児童の発達、個性に合わせた処遇を行う。

（3）家庭養育の支援をする

平成17年度より常勤のファミリーソーシャルワーカーを配置し、これまで以上に親子関係の調整を図り一日でも早く子どもが家庭に帰ることが出来るよう援助する。また、親の別離、病気、

事故、養育環境の不備や親の仕事の都合で一時的に養育できない児童には、短期入所や夜間宿泊をすることにより家庭養育を支援する。

知 恩 寮 (知的障害者更生施設)



施設長
御厨知行

- ① 所在地：543-0017 大阪市天王寺区城南寺町1番10号
電話番号：06-6761-1663
- ② 開設年月日：平成7（1995）年12月1日
- ④ 創立者名：田尻龍道
- ⑤ 理事長名：田尻玄龍
- ⑥ 関係寺院名：楞嚴寺
- ⑦ 定員：30名
- ⑧ 職員数：施設長 = 1名 支援員 = 9名 非常勤 = 2名
事務員 = 1名 調理員 = 2名 看護師 = 1名 嘱託医 = 1名
- ⑨ 施設面積：敷地 = 高津学園に含む
建物 = 1159.28m²
- ⑩ 運営方針
 - 1. 自立支援
 - 2. 日中活動の充実
 - 3. 地域交流
 - 4. 安全と健康
 - 5. 権利擁護

法然寮（ろうあ児施設）



施設長
重永 宏

- ① 所在地：543-0017 大阪市天王寺区城南寺町1番10号
電話番号：06-6761-1664
- ② 開設年月日：昭和32（1957）年6月1日
- ④ 創立者名：田尻龍道
- ⑤ 理事長名：田尻玄龍
- ⑥ 関係寺院名：楞嚴寺
- ⑦ 定員：30名
- ⑧ 職員数：施設長＝1名 主任＝1名 指導員＝1名 保育士＝6名
介助員＝1名 事務員＝1名 栄養士＝1名 調理員＝4名
- ⑨ 施設面積：敷地＝高津学園に含む
建物＝809.37㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革
昭和29年5月、大阪市の要望を受けて高津学園が救護院から養護施設（児童養護施設）となったのを契機に、昭和32年6月にはろうあ児の入所保護を目的とした施設である法然寮を新設した。
- ⑪ 運営方針
 - (1) 日常生活
聴覚だけの障がいだけでなく、知的・精神・肢体ならびに重複障がい児が一つの寮の中で内容・程度に関係なく相互に理解し、遊び、学び、生活している。入所してくる児童は訓練の要素や通学困難の理由ではなく、虐待や養育困難によるものが多く、聴覚・知的などの障がいよりも心の傷や不安の大きい者が多く、まず個々の児童が安心して生活できる場所であることを理解できるようにする。
 - (2) 能力に合った学校への通学
入所している児童は、年齢や能力、障がいの内容に合った教育機関に通学している。地域の幼稚園、小・中学校、ろう学校、養護学校に通い、学習活動はもとより集団生活、能力向上の訓練等を行い、寮と学校との密接な連携により個々の児童のよりよい生活を目指す。
 - (3) 寮の方針
法然寮は、制度の変更があったとしても児童への変わらぬ支援の提供、サービスおよび支援のレベルの維持、さらには選ばれる施設、複数のサービスを提供できる施設づくりを念頭に、ろうあ児施設という特性を活かし、地域の中での役割を果たす。



みろく仏の御手(昭和46年)



子育て地藏尊(昭和53年)
十三代面屋庄三作
(無形文化財保持者)



壁面を飾る慈母観音
(昭和51年) 面屋庄三作
(無形文化財保持者)



瑠璃観世音菩薩(平成7年)
山田良定作
(日本芸術院賞受賞者)

- ① 所在地：558-0011 大阪市住吉区苅田4丁目3番9号
電話番号：06-6607-2220 FAX：06-6696-5347
- ② 設立年月日：大正4（1915）年（※大阪四恩報答会）
- ③ 法人認可日：生活協同組合方式から（※代表 松浦春濤）
昭和9年（1934）財団法人（※代表 長谷川順孝）
昭和27年（1951）社会福祉法人（代表 林文雄）
- ④ 創立者名：林文雄（※社会福祉法人創立時）
- ⑤ 創立者の略歴：宗教大学（現 大正大学）・四恩報答会主事
- ⑥ 関係寺院名：一心寺
- ⑦ 理事長名：金戸述
- ⑧ 施設及び施設長名：施設名

四恩学園乳児院
 児童養護施設 四恩学園
 四恩るり保育園
 四恩乳児保育園
 四恩みろく保育園（夜間）
 四恩るり2乳児保育園（駅型）
 四恩みろく2保育園（夜間・駅型）
 四恩児童館・もんじゅ
 四恩学園診療所
 ふれ愛の館しおん・デイサービス・ホームヘルプサービス
 居宅介護支援 在宅介護支援
 ふれ愛の館しおん・第2デイサービスセンター
 認知症対応型

施設長
 金戸述
 中西裕
 金戸光子
 阪口由美
 江藤和代
 小林寿美恵
 吉迫一也
 吉迫一也
 大國英和
 行天邦善
 西田和人

- ⑨ 定員：児童養護施設 180名・乳児院 90名
 保育園(るり 90名・みろく 30名・乳児保育 60名・るり2 30名・みろく2 30名)
 デイサービスセンター 40名
- ⑩ 職員数：法人280名（2008/4/1現在）
 施設面積：乳児院 1,244.18㎡ 児童養護施設 3,244.18㎡ 保育園 1,317.09㎡(るり・みろく・乳保)
 児童館 317.53㎡ デイサービスセンター 612.43㎡ みろく2・るり2 477.8㎡



釜ヶ崎・昭和10年
ヴォーリス氏設計の鐘楼が特長の建物(左)が四恩学園



一心寺境内にあった児童養護施設
(昭和24年の建物)

⑪ 創設の趣旨及び沿革

大正4(1915)年に、在阪の宗教大学(現大正大学)出身者により、大阪四恩報答会を設立。キリスト教救世軍に習って鉄鉢で募金活動を開始、スラム街でセツルメント活動を行う。同7年米騒動発祥の地、西成区東入船町(通称釜ヶ崎)でスラム児童の指導に当たった。同9年、木造平屋建の園舎を建設し、四恩学園を創設。(会長 六花真哉 一心寺住職)不就学児童の教育、子供会、自由労働者の日掛け貯金等を設置。生活協同組合方式から財団法人に改組。昭和2年、無料診療所を開設。阪大の医師が無料診察、診療所は現在まで継続。昭和10年ヴォーリス氏設計の鉄筋3階建ての新園舎が完成。自由労働者の宿泊所として使用。

同20年大阪大空襲で木造部は全焼。焼け残った鉄筋3階建ての建物が、敗戦後巷にさまよう戦災孤児の収容施設として活用され、乳児院及び診療所を併設。

同24年一心寺境内に児童養護施設を新築。同36年「釜ヶ崎暴動」が勃発し数千人の労働者が放火、投石で大混乱。治安維持の労働福祉センター建設のため、国と大阪府の強い要請で大阪府に譲渡。残念ながらヴォーリス氏設計の名建築が取り壊された。

同38年住吉区菟田町に、乳児院・診療所開設。同40年毎朝の公園清掃に大阪市長より表彰。同42年隣接する大阪市立菟田保育所の運営委託を受ける。民営化第一号。地域のニーズに応じて閉園時間を午後5時より7時に延長保育を始める。同56年には、四恩乳児保育園を開園認可。同年地域サービス事業として「赤ちゃん110番」を開始。同57年、夜間保育所開園。ベビーホテル問題を受けての大阪市で第1号。翌年、「全国夜間保育所実態調査報告書」を発刊し、多大な反響があった。平成4年、病児デイケア事業が開始され、翌年には、乳児院、養護施設でショートステイが開始。平成六年には、大阪市より委託を受け、病後児デイサービス事業を開始。平成7年には、四恩学園総合福祉センターを住吉区菟田に新築。高齢者サービス開始。1階の大阪市立の菟田保育所の名称を「四恩るり保育園」と改称し、四恩学園の経営となる。四恩学園総合福祉センターは、0歳～100歳超の地域福祉の拠点となる。最近の資料等で設立当初は、被差別部落の支援(社会事業の重要な課題)も事業に位置付けられたものと思われる。

⑫ 運営方針

地域福祉事業として、次のような事業を行っている。

- ・ 0歳～100歳超までの地域共生の砦
- ・ 赤ちゃん110番
 - * 子どもの発育、しつけ、生活習慣など、日頃の育児のことで悩んでおられる方、お気軽にご相談下さい。経験豊富なものがご相談にお答えします。
- ・ 認可夜間保育所(午前8時～午後10時)
- ・ 昼間保育所・延長保育(午前7時～午後7時)
 - * 7時以降の場合は、夜間保育でお預かりすることもあります。
- ・ 一時保育(午前9時～午後4時)

- ・緊急一時保育（時間単位も可）保護者が怪我や病気で入院するなど緊急の場合。
- ・非定形保育（隔日勤務などの方 日・祝休み）
- ・病後児保育（事前登録制 日・祝休み）
- ・ショートステイ 乳児院・児童養護施設で実施（就学前）
- ・日曜・祝日保育（午前8時～午後6時）
- ・四恩児童館（保育所併設型）
 - *学童主体だが、午前中は乳幼児の親子連れが大勢参加する、親子サークルを開催。卒園生の中、高生もたまに来園。
- ・四恩育児支援センター
- ・高齢者配食・会食サービス（月～金曜日 昼食・夕食 *登録利用者数 130名）
- ・毎月誕生会・祖先祭り開催
 - *一心寺僧侶の読経に始まり、高齢者ボランティア、職員が集まり、誕生日を祝い、我が祖先を偲ぶ。
- ・カルチャーセンター（陶芸・俳句・太極拳・フラワー教室・書道・ちぎり絵・俳画・手品・日舞・社交ダンスなど）

四恩学園乳児院



春の遠足 動物園へ



- ① 所在地：558-0011 大阪市住吉区菟田4丁目3番9号
電話番号：06-6607-2220
- ② 開設年月日：昭和22年5月22日
- ④ 創 立 者 名：林文雄
- ⑤ 理 事 長 名：金戸述
- ⑥ 関係寺院名：一心寺
- ⑦ 定 員：90名（平成20年4月 暫定73名）
- ⑧ 職 員 数：55名
- ⑨ 施設面積：1,244.18㎡



デイサービスのおばあちゃんと
0～100歳超の地域共生の場



8月の地藏盆（子育て地藏）は地域の名物、多くのお参りがあります。一心寺さんから数珠をお借りして地域の皆さんと数珠まわし。





創立時の施設の写真



現施設の写真

住吉区苅田にある四恩学園総合福祉センター

⑩ 創設の趣旨及び沿革

戦災で釜ヶ崎の無料宿泊所は、ヴォーリス氏設計の鉄筋3階建を残して焼失。

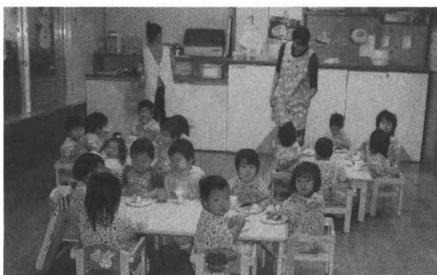
戦後いち早く、戦災孤児のために昭和22年7月四恩学園は園舎を新築。20名定員の乳児院と診療所を開設。当時アメリカから「ララ物資」と呼ばれる救援物資が敗戦国の社会福祉、医療、教育分野に送られましたが、林文雄氏はララ物資配分の中央委員として、大阪における配分担当を任せられます。北市民館がララ・ミルクステーション、四恩学園はララ衣料ステーションとなります。

この頃のエピソードとして、昭和20年9月占領軍による大阪軍政部が発足する。「ご無理ごもっとも」の時代に先代林文雄氏は、巷にあふれる戦災孤児達の処遇についての建白書を提出。それが占領軍の士官に正しく理解されず、逮捕されるという事態が発生。翌日その士官がこのような素晴らしい提案を誤解して申し訳なかったとあやまったという。かえてこのような行動が占領軍の信頼を深めたようで、後にララ物資の中央委員としての活躍が始まりました。

昭和37年戦前から続いた釜ヶ崎の施設が大阪府に委譲され、その代替地として現在の住吉区苅田町に乳児院、診療所、育児相談所が開設。昭和46年には乳児院、乳児保育所を新築。屋上にみろく佛の御手を模したシンボルを置く。

⑪ 運営方針

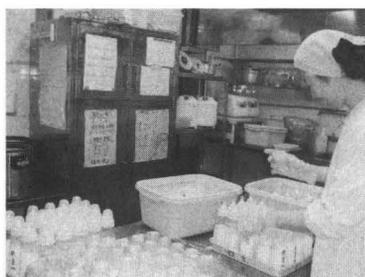
児童福祉法37条「乳児を入院させて、これを養育し、あわせて退院した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設とする」にもとづいて生後すぐから2歳までの保護者が育てられないこどもたちを24時間養育する施設です。保育士（三交代）、小児科医、保健師、看護師、栄養士、調理師、洗濯担当者が、子どもたちが健やかに育つように日夜努力しています。



いただきます！

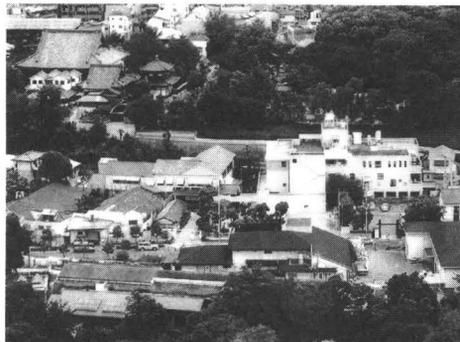


ベランダで遊ぶ子どもたち



0歳児のクラスの哺乳びん

四恩学園養護施設



上側が一心寺



2歳から高校生まで約180名が24時間生活(大食堂)

- ① 所在地：543-0062 大阪市天王寺区逢阪2丁目8番41号
電話番号：06-6771-9360
- ② 開設年月日：昭和23年7月23日
- ④ 創立者名：前田聰瑞
- ⑤ 理事長名：金戸述
- ⑥ 関係寺院名：一心寺
- ⑦ 定員：180名
- ⑧ 職員数：62名
- ⑨ 施設面積：3244.18㎡



一心寺で卒園生の会
「四恩の風の会」



慰問の焼き芋をよるこぶ子どもたち

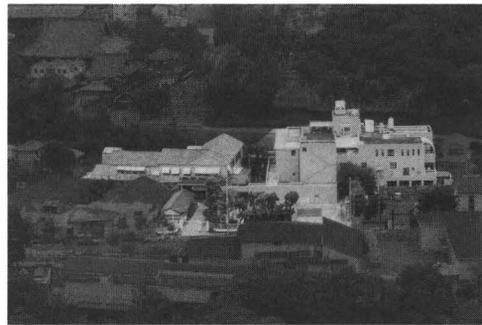


一心寺三千佛堂で花まつり



創立時の施設の写真

仮園舎を廃し建設された新園舎(昭和23年完成)



現施設の写真

⑩ 創設の趣旨及び沿革

昭和24年7月には、戦後収容児童急増のため仮園舎として利用された米軍宿舎(天王寺区逢坂下之町一心寺境内)の跡地に養護施設「玉水園」を開設。昭和27年5月には「社会福祉法人四恩学園」となる。昭和20年代は、日本国民の全てが耐乏の生活を余儀なくされましたが、その中でも肉親を失った子ども達の福祉に全力をあげて活動したのが四恩学園でした。

昭和31年養護施設、玉水四恩学園を新築。(一心寺境内)

昭和36(1961)年釜ヶ崎の四恩学園付近では、「釜ヶ崎暴動」が起こり、数千人の野宿者が放火、投石で大暴れ。この事件を機に国と大阪府は、治安維持のために西成労働センターを建設することとなり、その候補地として四恩学園が浮上。こうして国と大阪府の強い要望で、戦火を潜り抜けたヴォーリズ氏設計の名建築が、残念ながら取り壊されることとなりました。(37年)その代替地として現在の住吉菟田町に新しい土地を得て、乳児院、診療所、育児相談所を開設します。

⑪ 運営方針

児童福祉法41条「児童養護施設は、乳児を除いて、保護者のない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所した者に対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設とする」にもとづいて2歳から18歳までの保護者がいても環境上捨て置けない児童を養育(24時間)している施設です。学齢になれば、家庭の児童と同様に地区の学校に通学し、中学校を卒業すると、本人希望により、就職・高校進学・職業訓練所通学とそれぞれの進路に進みます。



一心寺の三千佛堂で花まつり



一心寺に初詣

四恩るり保育園



園庭で子ども達を見守る
「るり観世音菩薩」(右端)



常設の大きなプールで水遊び

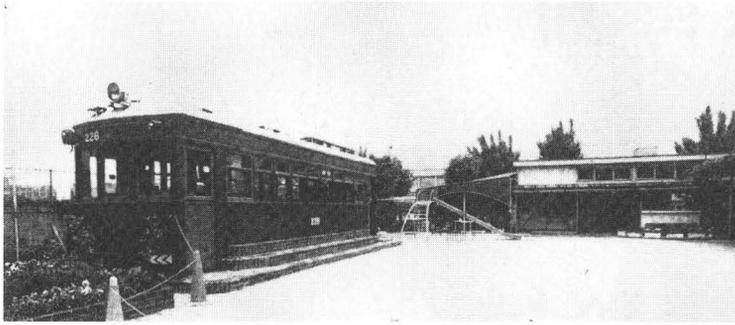
- ① 所在地：558-0011 大阪市住吉区苅田4丁目3番15号
電話番号：06-6692-5071
- ② 開設年月日：平成7年11月1日
- ④ 創作者名：林文雄
- ⑤ 理事長名：金戸述
- ⑥ 関係寺院名：一心寺
- ⑦ 定員：90名
- ⑧ 職員数：17名
- ⑨ 施設面積：1434.41㎡



花まつり



園庭にひるがえる鯉のぼり



創立時の施設の写真 南海電鉄のご好意で本物の電車が園庭に。



現施設の写真

⑩ 創設の趣旨及び沿革

四恩るり保育園の前身、苅田保育所は、昭和42年6月大阪市の経営委託により開園。園庭には本物の電車が置かれ、子ども達の大好きな遊び場になっていました。平成7年四恩学園が創業80周年を迎えるにあたって、高齢者施設を開設し、地域の総合福祉センターとして新しいスタートを切りました。それまでの大阪市立苅田保育所が四恩学園経営の「四恩るり保育園」として生まれ変わり。園庭には創立80周年を記念して「四恩の泉」を掘削し、瑠璃観世音菩薩様が建立され、園庭の子ども達を見守っています。

明るい園舎、広々とした園庭で子どもたちはのびのび感性豊かに育っています。4歳から体育、絵画指導、5歳から英語教室と専門の先生の指導を受け、希望者はピアノ、ひらがな教室にも参加できます。毎年いろんな絵画コンクールで受賞者多数。

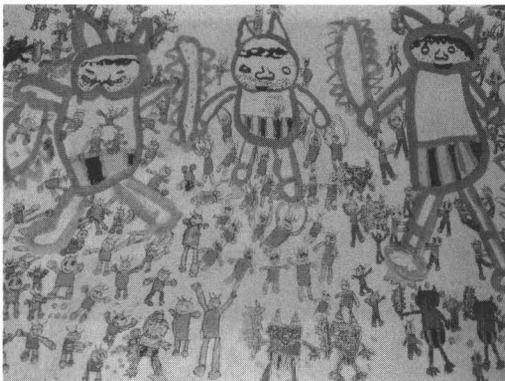
開園から現在まで、卒園した子どもたちは、親になり、親子三代にわたって園の行事に参加してくださる姿に勇気づけられています。

⑪ 運営方針

児童福祉法39条「保育所は、日日保護者の委託を受けて、保育に欠けるその乳児または幼児を保育することを目的とする施設とする」にもとづいて平成7年新築された素晴らしい子どもたちのお城です。広々と工夫された園舎（1階）で、子どもたちは、のびのびと感性豊かに育ちます。2階の高齢者デイサービスセンターとの交流もはかられます。

体育（健康）、絵画、陶芸（美・創造）と、週一回、専門の先生の指導があります。

0歳～5歳児を対象とし、午前7：00～午後7：00まで開園しています。



感性豊かな子どもたちの
素晴らしい絵（絵画教室で）



食育にも力を注いでいます

四恩乳児保育園



① 所在地：558-0011 大阪市住吉区苅田4丁目3番9号
電話番号：06-6692-5071

② 開設年月日：昭和56年4月1日

④ 創立者名：金戸述

⑤ 理事長名：金戸述

⑥ 関係寺院名：一心寺

⑦ 定員：60名

⑧ 職員数：21名

⑨ 施設面積：乳児院と同一敷地内

⑩ 創設の趣旨及び沿革

昭和46年乳児院の新築により開設、働くお母さんのニーズに応え続けています。

特に乳児期の心身の成長は、一生の間で大切な期間と考えます。この時期に子どもと一緒に過ごせることは、嬉しさと共に責任の重さを痛感します。高齢者施設、児童館が同じ敷地内にあるので、0歳～100歳超までの豊かなふれ合いも大切にしています。

⑪ 運営方針

児童福祉法39条「保育所は、日日保護者の委託を受けて、保育に欠けるその乳児または幼児を保育することを目的とする施設とする」にもとづいて産休明けから3歳まで、午前7時～午後7時まで規則正しく、愛情豊かに保育をしています。3歳になると別棟の四恩るり保育園に進級します。

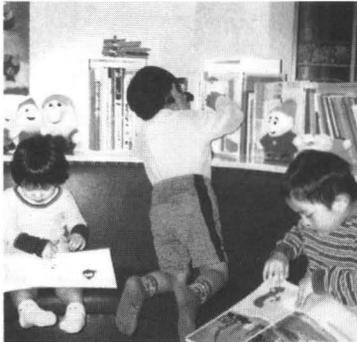


運動会



作品集

四恩みろく保育園（夜間保育園）



夕食をすませ、仲良くお迎えを待ちます。



「おばちゃんち」に居るふん囲気を大切に



夏期はお風呂に入って汗を流す

- ① 所在地：558-0011 大阪市住吉区菟田4丁目3番9号
電話番号：06-6692-5071
- ② 開設年月日：昭和57年8月1日
- ④ 創立者名：金戸述
- ⑤ 理事長名：金戸述
- ⑥ 関係寺院名：一心寺
- ⑦ 定員：30名
- ⑧ 職員数：8名
- ⑨ 施設面積：乳児院と同一敷地内
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

昭和53年頃から大都市で「ベビーホテル問題」が発生しますが、四恩学園ではそれ以前から、乳幼児の短期入所を目的とした地域サービス事業として「赤ちゃん110番」を開設。さらにその延長として57年には、大阪市初の夜間保育園「四恩みろく保育園」を開設しました。理事長金戸述は全国夜間保育園連盟の会長として、実践調査などに尽力しました。

⑪ 運営方針

児童福祉法39条「保育所は、日日保護者の委託を受けて、保育に欠けるその乳児または幼児を保育することを目的とする施設とする」にもとづいて午前7時から午後10時まで。大阪市内で最初に認可された夜間保育園です。現在大阪市内で認可は5ヶ所だけ。子どもたちは午後5時まで、四恩乳児保育園と四恩るり保育園で保育します。午後4時30分になると夜間保育園の先生がお母さんと同じようにお迎えに行きます。

午後6時に夏期はお風呂に入り、夕食を食べ、お迎えのあるまで、ここで遊びます。

夜間保育園は、子どもたちがくつろげるように、明るく家庭的な雰囲気を大切にしています。家庭では夕食がごちそうだからと、献立にも工夫をこらしています。

ミニハウスは、お気に入りの空間

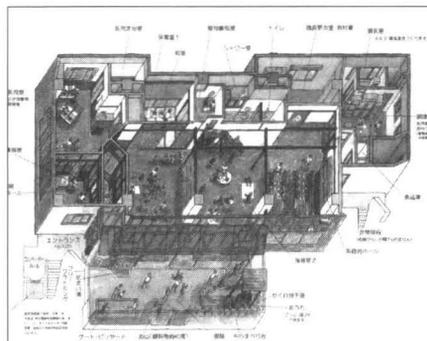


駅型

ツ 四恩るり2乳児保育園



近くの
あびこ観音寺は散歩コース



シックハウス症候群排除の
健康に配慮した環境。

- ① 所在地：558-0013 大阪市住吉区我孫子東3丁目2番25号コーポYM21・2階
電話番号：06-4700-8080
- ② 開設年月日：平成13年4月
- ③ 法人認可日：平成13年4月
- ④ 創立者名：金戸述
- ⑤ 理事長名：金戸述
- ⑥ 関係寺院名：一心寺
- ⑦ 定員：30名
- ⑧ 職員数：12
- ⑨ 施設面積：477.8㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革



平成13年働く女性の増加に応じて、駅（地下鉄御堂筋線あびこ駅）徒歩2分のマンションの2階（1フロア450㎡）の広々とした保育空間に開園しました。早朝から深夜まで0歳児（産休あけより）対応しています。近くのあびこ観音寺も散歩コースです。季節の行事や体操教室などは、専用バスで近くの本園へ。

⑪ 運営方針

児童福祉法39条「保育所は、日日保護者の委託を受けて、保育に欠けるその乳児または幼児を保育することを目的とする施設とする」にもとづいて産休明けから3歳まで、午前7時～午後7時まで規則正しく、愛情豊かに保育をしています。3歳になると四恩るり保育園に進級します。



秋には、月の観察をしました。

駅型

四恩みろく2 保育園 (夜間保育園)



シックハウス症候群排除の健康に配慮した環境



広いベランダが園庭です。近くの本園へも専用バスで……

① 所在地：558-0013 大阪市住吉区我孫子東3丁目2番25号コーポYM21・2階

電話番号：06-4700-8080

② 開設年月日：平成13年4月

④ 創立者名：金戸述

⑤ 理事長名：金戸述

⑥ 関係寺院名：一心寺

⑦ 定員：30名

⑧ 職員数：8名

⑨ 施設面積：477.8㎡

⑩ 創設の趣旨及び沿革

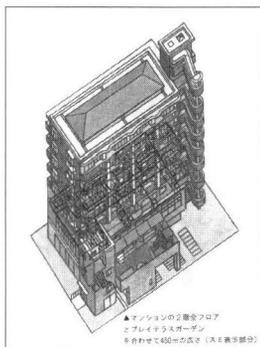
社会のニーズに応じて送迎に便利な駅前型を開園しました。午前7時～午後10時まで、「日・祝日保育」「病後児保育」「緊急宿泊」等も必要に応じて実施しています。

⑪ 運営方針

児童福祉法39条「保育所は、日日保護者の委託を受けて、保育に欠けるその乳児または幼児を保育することを目的とする施設とする。」にもとづいて午前7時から午後10時まで。大阪府で最初に認可された夜間保育園の駅前型として開園。

午後6時に夏期はお風呂に入り、夕食を食べ、お迎えのあるまで、ここで遊びます。

夜間保育園は、子どもたちがくつろげるように、明るく家庭的な雰囲気を大切にしています。家庭では夕食がごちそうだからと、献立にも工夫をこらしています。



セキュリティも気をつけて

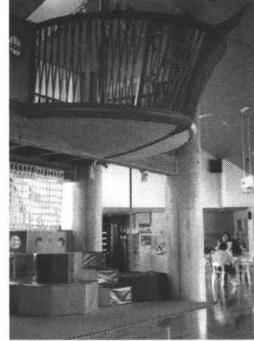


初詣
近くのあびこ観音寺へ

四恩児童館・もんじゅ



日曜開放にはお父さんも参加



船の舳先を模した大きな遊具

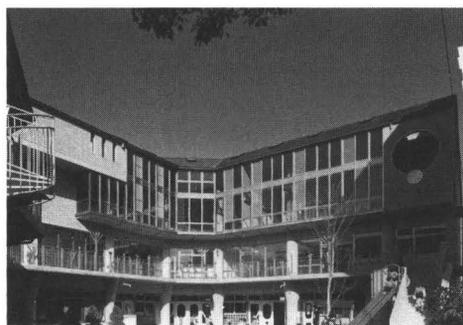
- ① 所在地：558-0011 大阪市住吉区菟田4丁目3番15号（総合福祉センター 3F）
電話番号：06-6607-3311
- ② 開設年月日：平成7年11月
- ④ 創作者名：金戸述
- ⑤ 理事長名：金戸述
- ⑥ 関係寺院名：一心寺
- ⑦ 定員：学童50名・子育て支援・幼児クラブ200名登録
- ⑧ 職員数：4名
- ⑨ 施設面積：317.53㎡



親子でともだち作り。週約300人が集う若いお母さんにベテランの子育て支援ボランティアさんがアドバイスも…



2階の高齢者施設によく遊びに出かけます
どちらも嬉しい交流がよくあります。



現施設の写真

⑩ 創設の趣旨及び沿革

大正時代に西成の地に若き僧侶たちの情熱によって誕生した四恩学園は、それから80年を経た、平成8年「総合福祉センター」として新しいスタートを切り、保育園を卒園した子どもたちの放課後の居場所や核家族となり育児に悩む母親の交流の場として開館しました。現在もその重要性がますます高まっています。

⑪ 運営方針

児童福祉法40条「児童厚生施設は、児童遊園、児童館等児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにすることを目的とする施設とする」にもとづいて幼児から学童の施設として就労と子育ての多様なニーズに対応するために、保育所と併設型の児童館において、従来の学童保育の事業に加えて、付加事業を一元的に実施することにより、就労と子育ての両立を支援し、児童の健全育成を目指しています。日曜・祝日の開館もあります。



児童館の運動会



103歳から0歳児までの地域活動
ゴーヤを育てる

ふれ愛の館・しおん



緑がたっぷりのレストラン

- ① 所在地：558-0011 大阪市住吉区菟田4丁目3番15号（総合福祉センター2F）
電話番号：06-6608-2110
- ② 開設年月日：平成7年11月
- ③ 法人認可日：昭和9年
- ④ 創立者名：金戸述
- ⑤ 理事長名：金戸述
- ⑥ 関係寺院名：一心寺
- ⑦ 定員：通所介護30名 訪問介護120名
認知症対応型通所介護12名
- ⑧ 職員数：68名
- ⑨ 施設面積：612.43㎡
- ⑩ 創設の趣旨及び沿革

施設に隣接する府営住宅も築30年を超え、住民の高齢化が顕著になり保育園改築に加え、乳児から高齢者までの複合多機能化を目指す。平成7年11月鉄筋コンクリート造3階建て、四恩学園総合福祉センターを開設。一階にるり保育園、二階老人デイサービスセンター、三階に保育所併設型児童館、病後児保育室。平成12年4月より介護保険制度施行にともない、通所介護事業所・訪問介護事業所・居宅介護支援事業所を開設。介護保険外事業として、大阪市生活支援型食事サービス、配食サービス、ふれあい会食を実施。

認知症対応型デイサービス・・・認知症の方に小規模でゆったりしたリズムの中で地域への買い物や食事づくりのほか、なじみの関係の中で「泊まり」のあるデイサービス。高齢者が住みなれた街でできるだけ長く住みたいと思う気持ちを大切に「地域支えあい」の拠点として信頼されている。

⑪ 運営方針

老人福祉法第20条の2の2「老人デイサービスセンターは、第10条の4第1項第2号の措置に係る者又は介護保険法の規定による通所介護に係る居宅介護サービス費若しくは居宅支援サービス費の支給に係る者その他の政令で定める者（その者を現に養護する者を含む）を通わせ、第5条の2第3項の厚生労働省令で定める便宜を供与することを目的とする施設とする」に基づく。

併設施設

デイサービスセンター 第2デイサービスセンター 居住介護支援事業所（東我孫子在宅介護支援センター 高齢者総合相談） ホームヘルプセンター



「大阪心ふれあい街づくり賞」受賞の総合福祉センター「ふれ愛の館しおん」



ホームヘルパーとお買い物



四季の花を見ながらの檜風呂



祖先祭り

四恩学園診療所



① 所在地：558-0011 大阪市住吉区菟田4丁目3番9号

電話番号：06-6607-2220

② 開設年月日：昭和2年6月

④ 創立者名：松浦春濤

⑤ 理事長名：金戸述

⑥ 関係寺院名：一心寺

⑧ 職員数：4名

⑨ 施設面積：乳児院と同一敷地内

⑩ 創設の趣旨及び沿革

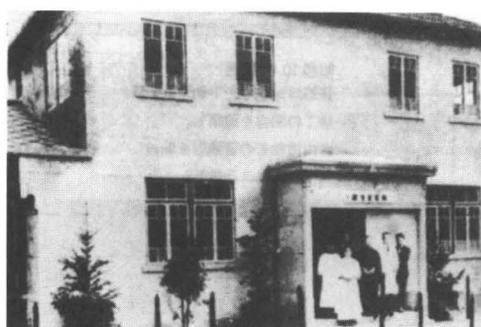
大正4年、浄土宗大阪教区の「一心寺」を中核として、宗教大学（現大正大学）出身の理想に燃えた有志僧侶によって、四恩報答会が設立。大正9年には四恩学園を創設しました。

昭和2年には、狭間萬助氏の特志によって無料診療部を開設。現在の地に移ったのは昭和46年、第二種社会福祉事業、無料低額診療施設として信頼を得ています。

⑪ 運営方針

四恩学園受付横に開設。月から金まで午後1時より3時30分まで小児科が受診できます。誰でも受診ができる。

・診療科目 小児科 ・診療受付時間 PM 1:00～3:30
(各種健康保険可)



診療部のおかれた狭間記念館(昭和3年完成)



小児科医が診察

社会福祉法人 南河学園 (児童養護施設)



理事長
伊藤順雄



施設長
伊山喜二

- ① 所在地：582-0021 大阪府柏原市国分本町7丁目6番14号
電話：0729-78-6342、6825
F A X：0729-77-3010
- ② 設立年月日：大正14年2月 財団法人南河学園設立。
- ③ 法人認可日：昭和24年3月 社会福祉法人南河学園（養護施設）として法人認可。
昭和26年2月 地域との交流のため、附属国分保育園（保育所）併設 保育所認可。
- ④ 創立者名：伊藤宗順
- ⑤ 創立者の略歴
阿弥陀寺先代住職（第29世）故伊藤宗順師は古くより「福祉の寺」として地域の人々に愛の手をさしのべてきた。師は大正12年3月仏教専門学校卒業後、教師の資格を取得し帰山、阿弥陀寺に司法少年保護施設を設け、非行を犯した保護少年に仏心教育を行いました。その後養護施設社会福祉法人南河学園となり、現在施設では離婚や経済的理由、問題的な理由などによって両親と一緒に暮らすことのできない子供たちが生活しています。さらに地域からの要望もあり、昭和26年附属国分保育園を設立、地域の子供たちを預かることになり、地域社会に密着した阿弥陀寺及び福祉施設となりました。
- ⑥ 関係寺院名：阿弥陀寺
- ⑦ 理事長：伊藤順雄
- ⑧ 施設及び施設長名（定員数含む）
児童養護施設 南河学園（定員70名） 園長伊藤正順（第31世）
保育所 附属国分保育園（定員150名） 園長伊藤順雄（第30世）
- ⑩ 職員数（役員を含む）
役員 理事7名 監事2名
職員 南河学園（計24名）
園長1名 指導員5名 保育士9名
書記1名 栄養士1名 炊事4名
嘱託医1名 非常勤2名
国分保育園（計25名）
園長1名 保育士17名 栄養士1名
非常勤3名 嘱託医3名

施設面積

児童養護施設 敷地 (585.1㎡) 建物 (延1,375.479㎡)

保育園 敷地 (1119.44㎡) 建物 (延900.67㎡)

⑪ 創立の目的及沿革

南河学園は児童憲章及児童福祉法に基づき、保護者のいない児童、放任されている児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を入園させ、子供達の独立心を育て児童憲章の精神と、仏教精神に基づき社会人として生活できるよう援護、育成を目的とした児童福祉施設です。

沿革

大正14年2月 司法少年保護南河学園設立、満24年間要保護少年の育成にあたりこの間優良団体として度々御下賜金を下付せられ又表彰の光栄に浴す。

昭和24年2月 故伊藤宗順が天皇、皇后両陛下の御前にて全国少年保護団体を代表して、報告言上の光栄に浴す。

昭和24年3月 財団法人南河学園養護施設に転換し入所定員50名、初代園長に伊藤順雄就任。

昭和26年2月 地域との交流のため、附属国分保育園を併設、地域の要望に答える。

昭和27年5月 社会福祉法人南河学園に組織変更、入所定員70名。

昭和39年5月 老朽補助金による児童居室、鉄筋コンクリート造2階建1棟新築。

昭和44年5月 競輪補助金による児童処遇及管理棟、鉄筋コンクリート造2階建一部鉄骨1階建1棟新築。

昭和47年4月 老朽補助金による保育舎、鉄筋コンクリート造陸根3階一部4階建1棟新築。

昭和53年4月 第2代目園長伊山羊之助就任。

昭和54年3月 競馬振興会補助金による全棟水洗便所に改築。

平成7年4月 第3代目園長伊藤正順就任。

平成8年4月 子育て支援短期利用事業開始。

本園の特色

- ① 二上山や鉢伏山を背景に、きれいな山々にかこまれ静かで、大和川やぶどう畑を間近にし又種々の果物を豊富であり、加えて小都市としてまとまりもあり、大変環境にめぐまれています。
- ② 仏教精神に基づく道徳教育に一貫し、更に家庭的にして基本的な人格形成に努力しています。
- ③ 保育所を併設し地域との交流に努力しています。
- ④ 児童のグループ編成は、男女混合の縦割として、家庭的なふんいきで明るく、なごやかに生活しています。
- ⑤ 幼児は本園併設の保育園に、小、中学校は極近い地元の学校に通学し更に進学希望者を奨励し、高等学校、及専門学校に通学させるよう努力しています。
- ⑥ 色々と多くの問題をかかえた子供達には治療教育を目的として努力しています。
- ⑦ 大学の実習施設として御利用いただいております。

社会福祉法人 月の輪学院(知的障害児施設)

- ① 所在地：572-0076 大阪府寝屋川市仁和寺本町2丁目3番3号
電話番号：0720-26-0619
- ② 設立年月日：昭和11（1936）年4月
- ③ 法人認可日：昭和20（1945）年10月財団法人の登記を行う。
昭和27年5月社会福祉法人に組織変更を行う。
- ④ 創立者名：越野俊海
- ⑥ 関係寺院名：常楽寺
- ⑧ 施設及び施設長名：月の輪学院
施設面積：土地総面積 2,432㎡
敷地 1,168.34㎡
建物 1,143.81㎡

⑪ 創設の趣旨及び沿革

浄土宗常楽寺住職越野俊海師が、昭和11年4月幼少年救護施設月の輪寮として発足させたのが今日の月の輪学院である。昭和20年10月には、財団法人の登記を行い、月の輪学院と改称した。昭和27年4月には、知的障害児施設に種別変更が認可され、定員45名で発足し、翌月に、社会福祉法人月の輪学院に組織変更を行った。昭和33年4月には、特殊学級の設置が認められ、さらに、昭和40年5月には、寝屋川市立第二中学校分校として認可された。そして、昭和50年4月寝屋川市第二中学校、点野小学校の分校を廃止し、大阪府立寝屋川養護学校に通学することとなった。昭和51年4月には、大阪府との間に在宅重度障害児の緊急一時保護事業を契約し実地を委託された。昭和52年11月、越野俊海師の遷化により越野俊雄師が院長を継承した。昭和61年2月越野俊雄師遷化により、越野日出子氏が院長を継承した。

⑫ 運営方針

児童福祉法により知的障害の児童が入所し保護するとともに、それぞれにあわせて自立に必要な指導及び訓練を行うことを目的とし、障害は重くても命あるままに唯生き続けるということではなく、心豊かな人生を歩んでいけるよう、ノーマライゼーションの実現を理念として児童の処遇に重点をおいた施設づくりをめざしている。

処遇内容は次の通りである。

・生活指導

身の自立を目標に、個別の生活指導計画に沿って援助指導を行う。

・学令児指導

学令児は全員大阪府立寝屋川養護学校に入学し、障害や発達の状態に応じて適切な教育を受ける。

・年長児指導

就職、家庭引取、成人施設への入所が困難な児童については、作業グループは木工、家庭科グループは結び織り、洗濯を単元として取り上げ、将来社会人として必要な基本的技能・態度・習慣を養成し、社会参加への基盤づくりを行う。

・帰宅面会

週末を帰宅日、日曜日を面会日とし、児童と家族とのつながりを深めていきたいので保護者の方の協力を求めている。

・緊急一時保護事業

在宅の重度障害児を家庭で介護出来ない場合、一時的に保護します。

編集後記

- ▽『浄土宗社会福祉施設総覧』をお届けします。この冊子は、巻頭言にあるように平成八年度に発足した浄土宗総合研究所「仏教福祉に関する共同研究班」において企画され、現在の仏教福祉研究班によって編集、刊行されたものです。
- ▽当初は浄土宗における大正中期から昭和初期（戦前）を中心とした歴史的資料の集成として立案されましたが、幾多の研究・検討を経た結果、その伝統と遺志を継承された現在の各施設の概要を報告するものとなりました。なお、一部ご回答を頂くことができなかった施設につきましては、掲載がありませんが、それ以外にも、有益な活動をされている施設が多数ございます。
- ▽当初の編集方針から各施設の概要を報告する経緯に至りました理由は、二点あります。一点目は浄土宗の社会事業の歴史に関してはすでに多くの研究資料があり、それらとの重複となるだけではないかと思われたからです。二点目は、『浄土宗社会福祉施設総覧』刊行に際して、この昭和初期までに発足した各福祉施設のみならず、ひろく今後に関しても継続して記録すべきではないかと考えたためです。
- ▽本書の刊行が遅れましたことにつきましては、関係者各位に深くお詫び申し上げます。当初、本書は浄土宗総合研究所京都分室の仏教福祉研究班において作業を行ってまいりましたが、諸般の事情により、浄土宗総合研究所の仏教福祉研究班が作業を引き継ぎました。本書掲載の内容は、平成二十年現在ですが、校正及び変更のご指摘を頂戴できなかった施設のものは平成十八年七月当時の内容となっておりますので、何卒ご了承ください。
- ▽本冊子の編集のため基礎資料をご提供いただいた各施設関係者に厚く御礼申し上げます。また編集、刊行に際し多くの仏教福祉研究の先生方にご尽力いただきました。厚く御礼申し上げます。

合掌

浄土宗社会福祉施設総覧 一戦前期設立施設法人編一

平成20年3月25日 発行

発行人 石上善應
編集 浄土宗総合研究所
「仏教福祉研究班」

発行所 浄土宗総合研究所
〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館内
電話 (03)5472-6571(代表) FAX (03)3438-4033

